

かすがいっ子未来プラン 実施状況報告書

(平成22年度中間報告)



みんなで育てよう 次代を担うかすがいっ子



平成23年2月
春日井市

目次

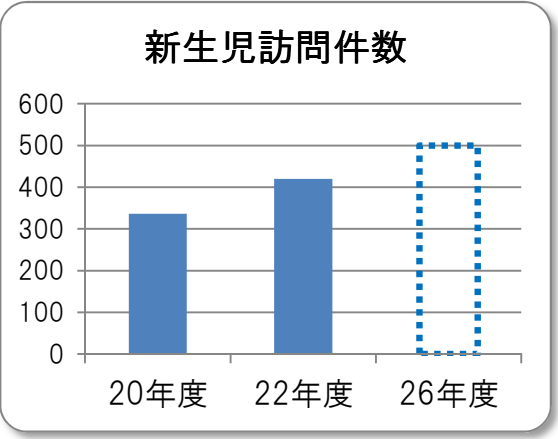
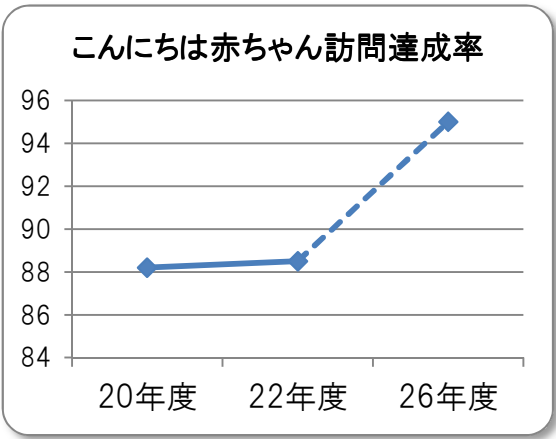
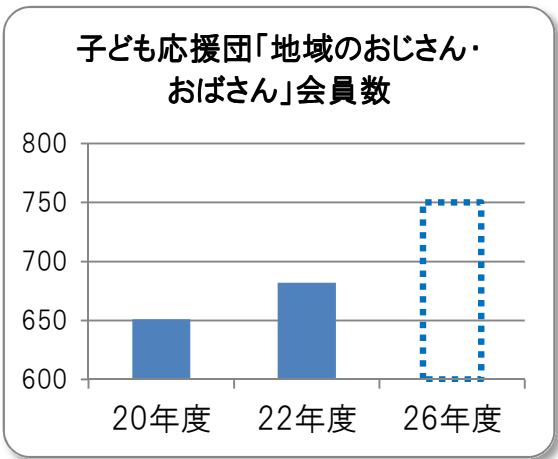
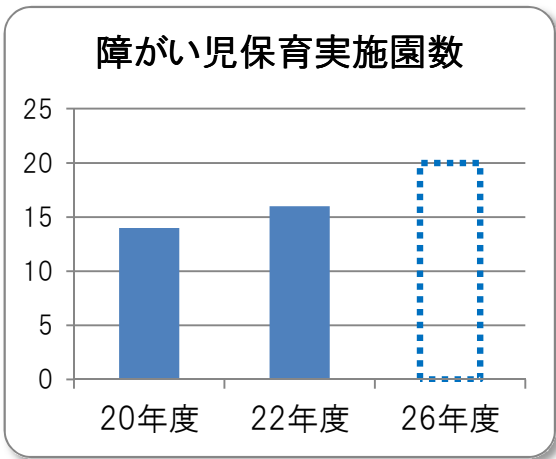
I	子どもの生きる権利を尊重しよう	…	1
II	若者が自信を持って大人になるようにしよう	…	4
III	家庭を楽しい子育ての基地にしよう	…	7
IV	すみやすい・子育てしやすい環境をつくろう	…	10
V	学校生活をいきいきとさせよう	…	14
VI	いっしょに育てよう・育とう	…	16
	資料 事業推進状況一覧表		

I 子どもの生きる権利を尊重しよう

成果指標

指 標	20年度	22年度	目標値 (平成26年)
障がい児保育実施園数	14園	16園	20園
子ども応援団「地域のおじさん・おばさん」会員数	651人	682人	750人
こんにちは赤ちゃん訪問達成率	88.2%	88.5%	95%以上
新生児訪問件数	336件	420件	500件

※ 22年度は平成22年12月現在



重点プロジェクト関連事業

かすがいっ子未来プラン(概要版)の重点プロジェクトに掲載されている事業です(以下同じ)。

区分	No.	事業	内容	担当課	実施状況
新規	025	幼児2人同乗用自転車の普及・啓発	安全性を確保した幼児2人同乗用自転車の普及・啓発を行います。	子ども政策課	実施 (平成22年4月)
新規	063	救急ガイドブック	救急車の適正利用を促進するため、子どもをもつ親への受診判断基準となる救急ガイドブックを作成します。	消防総務課	実施 (平成22年9月)
※	007	障がい者生活支援センター	障がいのある人や保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供、権利擁護のために必要な援助などを行います。	障がい福祉課	継続
※	029	こども防犯教室	春日井市安全なまちづくり協議会の青少年問題調整部会が、ボランティアを講師として小学1年生を対象に総合学習を利用し、安全意識の啓発を行います。	市民安全課	継続

※すでに実施しているが、前期計画にはないため、新たに掲載した事業(以下同じ)

その他新規・拡充・研究事業

かすがいっ子未来プラン(本編)に掲載されている新規・拡充・研究事業です(以下同じ)。

区分	No.	事業	内容	担当課	実施状況
拡充	006	障がい児保育	心身に障がいのある児童に対し、地域の保育園で保育を行います。	保育課	継続
拡充	038	妊婦・乳児健康診査	母子健康手帳交付時に妊娠期・乳児期の健康診査受診票を交付します。	子ども政策課	診査項目を拡充 (平成22年4月)
研究	039	妊産婦支援	妊婦や産後育児不安のある母親を支援するため、妊産婦支援のあり方について調査研究します。	子ども政策課	未実施 (26年度予定)
研究	040	養育支援	こんにちは赤ちゃん訪問を実施する中で、養育不安を抱える親を対象とした支援事業について調査研究します。	子ども政策課	未実施 (23年度予定)

事業別実施状況

重点プロジェクト関連事業、その他新規・拡充・研究事業のうち、平成22年度実施分を掲載(以下同じ)

25 幼児2人同乗用自転車の普及・啓発



区分	新規
担当課	子ども政策課
具体的内容	<p>幼児2人同乗用自転車の利用の促進を図るため、レンタサイクル事業を実施し、地域における子育て支援及び自転車の安全運転の意識向上に寄与します。</p> <p>対象者は、①市内に住所を有し、年齢が16歳以上であること、②その者の属する世帯において、1歳以上の未就学児を2人以上養育していること、③自転車の適正な保管場所を確保できる方です。</p>
実施状況 (平成22年度)	<p>貸出台数 63台 貸出期間 平成22年5月15日～平成23年3月15日 賃貸料 月額 1,000円</p> <p>※ 自転車の購入に当たっては、愛知県子育て支援対策基金事業費補助金を活用し、100%補助事業として実施</p> <p>他2台を交通児童遊園に試乗用として設置した。</p>

63 救急ガイドブック



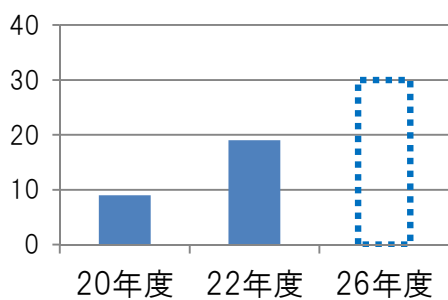
区分	新規
担当課	消防総務課
具体的内容	<p>救急車の適正利用を促進するため、子どもをもつ親への受診判断基準となる救急ガイドブックを作成します。</p>
実施状況 (平成22年度)	<p>ハンドブックタイプとして、子どもの救急ハンドブック20,000部作成し関係各課に配布した。1年分の受講、届出実績で計画しているので、平成23年度も引き続き配布を継続する。なお、春日井市ホームページにも掲載して広く啓発している。</p>

II 若者が自信を持って大人になるようにしよう

成果指標

指 標	20年度	22年度	目標値 (平成26年)
青少年ボランティアスクール参加者数	9人	19人	30人
1年間で地域行事等に「どれも参加したことがない」と答えた若年市民（18～29歳）の割合	60.4%	—	55%以下
大人になっても春日井市に住みたいと思う中高生の割合 (「住みたいと思う」「どちらかというに住みたいと思う」の合計)	中学生 45.6% 高校生 37.8%	—	中学生 50%以上 高校生 40%以上

青少年ボランティアスクール参加者数



重点プロジェクト関連事業

区分	No.	事業	内容	担当課	実施状況
新規	084	子ども広報発行	次代を担う子どもたちに、市政に対する関心や認識を深めてもらうため、市政情報等をわかりやすく編集した子ども広報を発行します。	広報広聴課	実施 (平成22年7月)
新規	092	子ども・若者支援 地域協議会	教育、福祉、保健、医療、矯正、更生保護、雇用など子ども・若者育成支援に関連する分野の関係者が連携し、総合的な支援を行う組織を設置します。	子ども政策課	未実施 (23年度予定)

その他新規・拡充・研究事業

区分	No.	事業	内容	担当課	実施状況
新規	071	国際書道交流展	若い世代を中心とした書文化の裾野を広げるため、幼児から高校生までの書作品や海外の高校生の作品を展示するとともに、大学生や高校生による書のパフォーマンスなどを開催します。	文化課	実施 (平成23年1月)
新規	078	地域職業体験	市内事業所による職業体験を通じて、次代を担う子どもに働くことの意義を伝えます。	経済振興課	未実施

事業別実施状況

71 国際書道交流展



区 分	新規
担当課	文化課
具体的内容	若い世代を中心とした書文化の裾野を広げるため、幼児から高校生までの書作品や海外の高校生の作品を展示するとともに、大学生や高校生による書のパフォーマンスなどを開催します。
実施状況 (平成22年度)	「書のまち春日井」ならではの書関連イベントとして、書文化の将来を担う市内の若い世代の作品及び「書の甲子園」と言われている国際高校生選抜書展の海外の部の入賞作品等を展示するとともに、高校生による書のパフォーマンスを実施するもの。 書道パフォーマンス 出演:4チーム 「若い世代による」作品展示 出展作品:157点(うち海外作品55点)

84 子ども広報発行



区 分	新規
担当課	広報広聴課
具体的内容	次代を担う子どもたちに、市政に対する関心や認識を深めてもらうため、市政情報等をわかりやすく編集した子ども広報を発行します。
実施状況 (平成22年度)	配付対象:市内の小学4~6年生及び中学生 発行回数:年2回(7月、12月) 発行部数:20,000部(7月)、21,000部(12月) その他:情報コーナー及び東部市民センター、坂下出張所、各公民館・ふれあいセンター等に設置

III

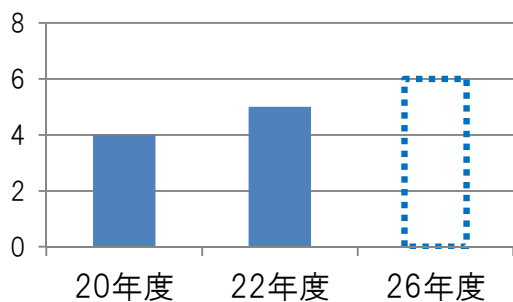
家庭を楽しい子育ての基地にしよう

成果指標

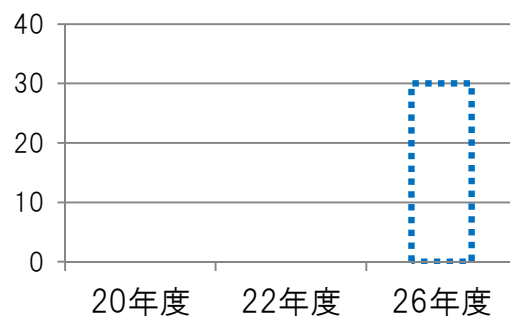
指 標	20年度	22年度	目標値 (平成26年)
地域子育て支援拠点の設置か所数	4 か所	5 か所	6 か所
子育て支援団体ネットワーク会議参加団体数	—	未開催	30団体
春日井っ子みらいネットアクセス数	3,830件	3,026件	7,500件
休日パパママ教室及びパパママ教室父親参加者数	566人	490人	650人
子育ては「楽しいと感じる時のほうが多い」と答える就学前の割合	60.0%	—	65%以上

※ 22年度は平成22年12月現在

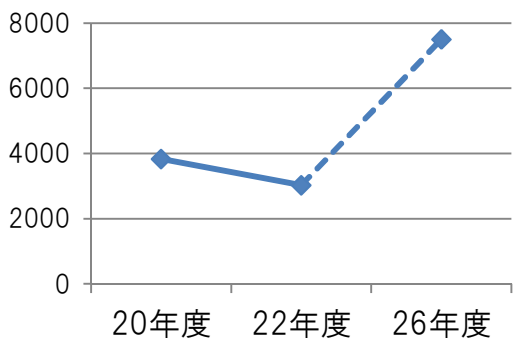
地域子育て支援拠点の
設置か所数



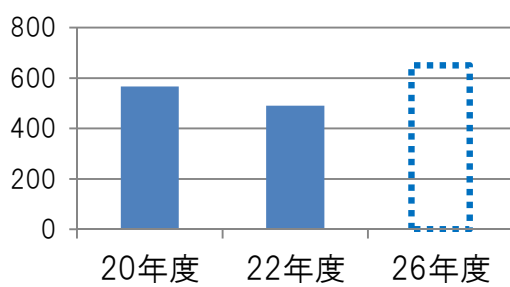
子育て支援団体ネットワーク
会議参加団体数



春日井っ子みらいネットアクセス数



休日パパママ教室及びパパ
ママ教室父親参加者数



重点プロジェクト関連事業

区分	No.	事業	内 容	担当課	実施状況
拡充	104	子育て支援拠点整備	地域的利便性に配慮しつつ、子育てつどいの広場などの子育て支援拠点の整備を促進します。	子ども政策課 保育課	実施 (平成22年8月)
研究	105	地域子育て支援ネットワーク	子育て支援団体等のネットワーク化を図るため、子育て支援団体ネットワーク会議の開催などについて調査研究します。	子ども政策課	一部試行実施 (平成23年2月)
※	106	子育て支援サークルの助成	地域における子育て支援を図るため、親子の交流の場や情報提供を行う子育て支援サークルに助成します。また、団体活動の情報提供を行います。	子ども政策課	継続
研究	112	子育て・子育て総合相談支援ネットワーク	子育て・子育てに関する各種相談の連携体制の強化について調査研究します。	子ども政策課	未実施 (24年度予定)
研究	113	地域子育て応援事業(子育て支援ネットワーク)	妊婦、在宅子育て家庭の保護者の登録制度を創設し、子育て支援情報の携帯メール配信などを調査研究します。	子ども政策課	未実施 (23年度予定)

その他新規・拡充・研究事業

区分	No.	事業	内 容	担当課	実施状況
新規	103	ニュータウンきずな事業	高蔵寺ニュータウンの中核となる東部市民センターを、地域住民の「出会い」と「きずな」づくりの場とするため、子どもや親子を対象とした体験講座や、ホールでの芸術文化鑑賞などを実施し、地域交流や世代間交流の活性化を図ります。	東部市民センター	実施 (平成22年8月)

事業別実施状況

103 ニュータウンきずな事業



区分	新規
担当課	東部市民センター
具体的内容	高蔵寺ニュータウンの中核となる東部市民センターを、地域住民の「出会い」と「きずな」づくりの場とするため、子どもや親子を対象とした体験講座や、ホールでの芸術文化鑑賞などを実施し、地域交流や世代間交流の活性化を図ります。
実施状況 (平成22年度)	とびだせ！夏のどんぐりキッズ公民館 開催日時：平成22年8月29日(日)午前10時～午後4時 参加者数：494人(うち大人163人、子ども331人) どんぐり芸術文化劇場「どんぐりベル・コンサート」 開催日時：平成22年12月18日(土)午後2時～4時 参加者数：300人

104 子育て支援拠点整備



区分	拡充
担当課	子ども政策課 保育課
具体的内容	子育て親子の交流等を促進するつどいの広場と一時預かり事業を実施する地域子育て支援拠点として、平成22年8月に東部子育てセンターを開設しました。
実施状況 (平成22年度)	春日井市東部子育てセンター 場所 中央台2丁目5番地 サンマルシェ・アピタ館内 指定管理者 NPO法人あっとわん 定員(一時預かり事業) 15名

105 地域子育て支援ネットワーク



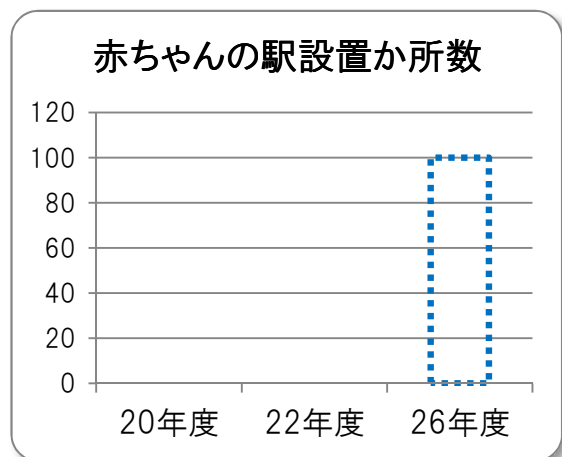
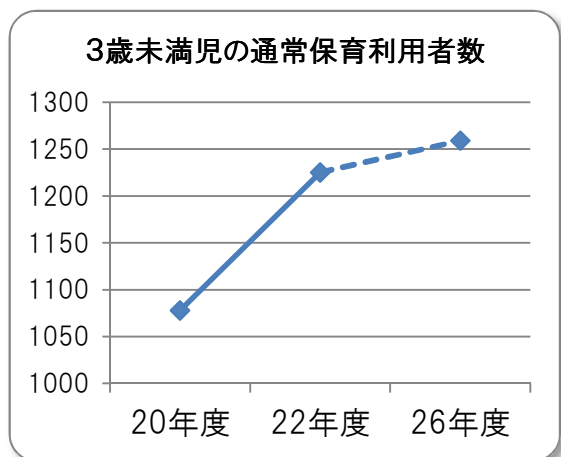
区分	研究
担当課	子ども政策課
具体的内容	子育て支援団体ネットワーク会議を開催し、交流、情報交換など連携を促進するとともに、子育て支援機能の地域的不均衡に配慮しつつ、移動型の子育て支援事業を実施し、子育て支援サロン等と連携することにより、地域子育て支援の充実を図ります。
実施状況 (平成22年度)	移動型子育て支援事業を試行的に実施(10:00～11:30) 平成23年2月3日・3月3日(坂下公民館)、2月7日・3月7日(鷹来子どもの家)、2月8日・3月8日(南部ふれあいセンター)、2月18日・3月18日(グリーンパレス)

IV すみやすい・子育てしやすい環境をつくろう

成果指標

指 標	20年度	22年度	目標値 (平成26年)
3歳未満児の通常保育利用者数 ※各年4月1日現在	1,078人	1,225人	1,259人
延長保育実施か所数	9か所	10か所	11か所
休日保育実施か所数・定員数	0か所	1か所	2か所
	0人	20人	40人
病後児保育実施か所数・利用定員	2か所	3か所	3か所
	年間延べ 2,328人	年間延べ 3,528人	年間延べ 3,492人
一時保育実施か所数・利用定員	6か所	8か所	8か所
	年間延べ 17,460人	年間延べ 23,700人	年間延べ 24,735人
児童ショートステイ実施か所数	3か所	3か所	4か所
赤ちゃんの駅設置か所数	—	—	100か所

※ 22年度は平成22年12月現在



重点プロジェクト関連事業

区分	No.	事業	内容	担当課	実施状況
新規	125	認定こども園整備補助	教育及び保育に対する需要の多様化への対応、待機児童の解消を図るため、民間事業者が実施する整備を支援します。	保育課	実施予定 (平成23年4月)
拡充	126	認可保育所整備補助	待機児童の解消を図り、多様な保育サービスを提供するため、民間事業者が実施する整備を支援します。	保育課	実施予定 (平成23年4月)
拡充	127	既設保育所の建替え整備	老朽化が著しい保育園について、保育環境を確保するため整備計画に基づき順次計画的に建替え整備を行います。	保育課	継続

その他新規・拡充・研究事業

区分	No.	事業	内容	担当課	実施状況
拡充	130	延長保育	保護者の就労状況等により通常の時間を超えた保育を行います。	保育課	継続
拡充	131	休日保育	保護者の就労状況等により、休日に保育ができない児童の保育を行います。	保育課	継続
拡充	132	一時保育	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育や保護者の疾病、育児疲れに伴う負担の解消等に対応するため、一時的な保育を行います。	保育課 子ども政策課	新たに東部子育てセンターで実施 (平成22年8月)
拡充	133	児童ショートステイ	保護者が病気その他の理由により養育が一時的に困難となった場合に、児童福祉施設等で一時的に養育します。	子ども政策課	継続

その他新規・拡充・研究事業

区分	No.	事業	内容	担当課	実施状況
新規	136	子ども手当	中学校修了前の子どもを養育している保護者に、手当を支給します。	子ども政策課	実施 (平成22年4月)
拡充	137	子ども医療費助成	医療費(保険診療分)の自己負担分を助成します。	保険医療年金課	助成対象を拡大 (平成22年7月)
拡充	138	児童扶養手当	ひとり親家庭の18歳未満(高校卒業まで)の児童又は父母のいない児童を監護(養育)している人に手当を支給します。	子ども政策課	継続
新規	149	子育てバリアフリーマップ	子育て支援団体等と連携し、子ども連れでも外出しやすいバリアフリーマップの作成を推進します。	子ども政策課	未実施 (24年度予定)
新規	150	赤ちゃんの駅	おむつ替えコーナーや授乳用のお湯などを提供する協力店舗を推進します。	子ども政策課	未実施 (23年度予定)
新規	155	インターネット利用安全・安心講座	青少年が安全に安心してインターネットを利用できるよう、インターネット上におけるコミュニケーションマナーやルール、情報発信の責任等について学ぶ講座を開催します。	子ども政策課	未実施 (23年度予定)

事業別実施状況

132 一時保育

区 分	拡充
担当課	保育課 子ども政策課
具体的内容	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育や保護者の疾病、育児疲れに伴う負担の解消等に対応するため、一時的な保育を行います。
実施状況 (平成22年度)	<p>保育園6園及び子育て子育て総合支援館は継続して実施</p> <p>平成22年8月に開設した東部子育てセンターで一時預かりを実施</p> <p>利用時間／料金 7:30～19:00 3,000円 7:30～12:30 1,500円 13:00～19:00 1,500円 1時間預かり 500円／時間(上限3,000円)</p> <p>利用定員 おおむね15名 延べ利用人数 553人</p>

136 子ども手当

区 分	新規										
担当課	子ども政策課										
具体的内容	中学校修了前の子どもを養育している保護者に、手当を支給します。										
実施状況 (平成22年度)	<p>平成22年4月1日に児童手当から子ども手当に移行した。</p> <p>支給対象の子どもの数</p> <table border="0"> <tr> <td>被用者(0～3歳未満)</td> <td>6,394人</td> </tr> <tr> <td>非被用者(0～3歳未満)</td> <td>1,472人</td> </tr> <tr> <td>被用者(3歳以上小学校修了前)</td> <td>14,671人</td> </tr> <tr> <td>非被用者(3歳以上小学校修了前)</td> <td>4,091人</td> </tr> <tr> <td>小学校終了後中学校修了前</td> <td>7,597人</td> </tr> </table>	被用者(0～3歳未満)	6,394人	非被用者(0～3歳未満)	1,472人	被用者(3歳以上小学校修了前)	14,671人	非被用者(3歳以上小学校修了前)	4,091人	小学校終了後中学校修了前	7,597人
被用者(0～3歳未満)	6,394人										
非被用者(0～3歳未満)	1,472人										
被用者(3歳以上小学校修了前)	14,671人										
非被用者(3歳以上小学校修了前)	4,091人										
小学校終了後中学校修了前	7,597人										

137 子ども医療費助成

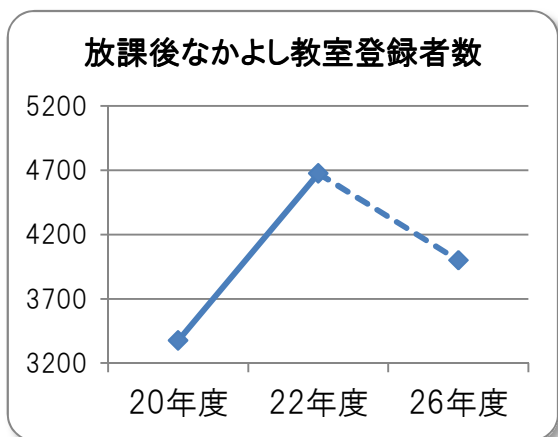
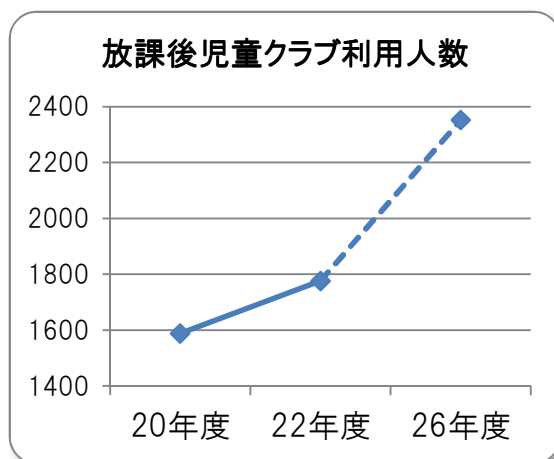
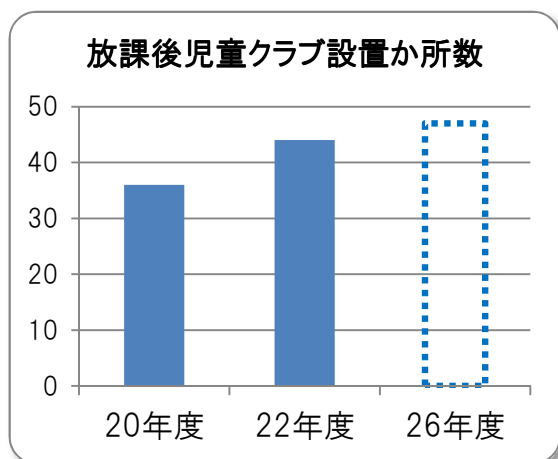
区 分	拡充
担当課	保険医療年金課
具体的内容	<p>医療費(保険診療分)の自己負担分を助成します。</p> <p>【内 容】医療保険適用後の入院・通院医療費自己負担額の助成</p> <p>【対象者】入院 出生から中学3年生まで、通院 出生から小学3年生まで</p>
実施状況 (平成22年度)	平成22年7月診療分から通院医療費助成の対象を小学3年生から中学3年生まで拡大した。

V 学校生活をいきいきとさせよう

成果指標

指 標	20年度	22年度	目標値 (平成26年)
学校の授業がわかると答える子どもの割合 「よくわかる」「だいたいわかる」の合計	小学4～6年生 85.0% 中学生 61.5%	—	小学4～6年生 90%以上 中学生 65%以上
放課後児童クラブ設置か所数・利用人数	36か所 1,588人	44か所 1,776人	47か所 2,352人
放課後なかよし教室登録者数	3,376人	4,675人	4,000人

※ 22年度は平成22年12月現在



重点プロジェクト関連事業

区分	No.	事業	内容	担当課	実施状況
※	174	青少年の居場所づくり事業助成	青少年の居場所づくり活動を継続的に行う団体に助成します。	子ども政策課	継続

その他新規・拡充・研究事業

区分	No.	事業	内容	担当課	実施状況
新規	172	青少年交流拠点	地域の若者や大人、NPOとの協働で、放課後や休日にスポーツ、文化活動など多彩な活動をするための交流拠点や居場所づくりを行います。	子ども政策課	未実施 (25年度予定)
拡充	173	放課後児童施設整備	放課後児童健全育成事業を実施する施設として、子どもの家を整備するとともに、老朽化への対応を進めます。	子ども政策課	2か所整備 (平成22年10月)

事業別実施状況

173 放課後児童施設整備

区分	拡充
担当課	子ども政策課
具体的内容	放課後児童健全育成事業を実施する施設として、子どもの家を整備するとともに、老朽化への対応を進めます。
実施状況 (平成22年度)	新たに子どもの家(玉川、岩成台西)を2か所整備した。

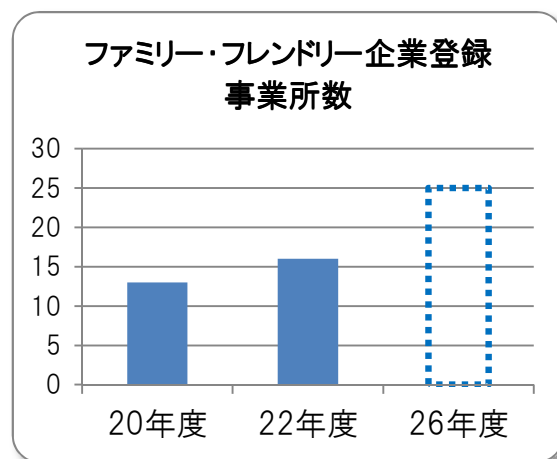
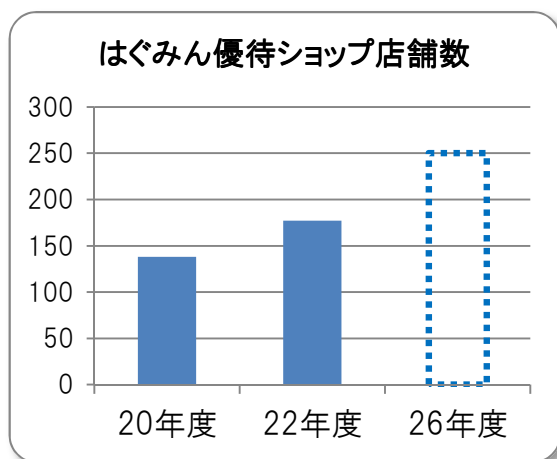


VI いっしょに育てよう・育とう

成果指標

指 標	20年度	22年度	目標値 (平成26年)
はぐみん優待ショップ店舗数	138店舗	177店舗	250店舗
春日井市は子育てしやすいまちと答える割合 「そう思う」「どちらかというと思う」の合計	就学前 65.5% 小学生 62.2%	—	就学前 70%以上 小学生 65%以上
地域で支えられていると答える割合 「そう思う」「どちらかというと思う」の合計	就学前 50.9% 小学生 52.0%	—	就学前 55%以上 小学生 55%以上
ファミリー・フレンドリー企業登録事業所数	13事業所	16事業所	25事業所

※ 22年度は平成22年12月末現在



その他新規・拡充・研究事業

区分	No.	事業	内容	担当課	実施状況
拡充	182	ファミリー・サポート・センター	子育て子育て総合支援館において、安心して子育てができるように、依頼会員と援助会員がお互い助け合いながら活動する会員組織を運営します。また、緊急サポート事業を調査研究します。	子ども政策課	緊急サポート事業未実施 (25年度予定)

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
1	男女共同参画課	DV相談	被害者が安心して相談できるよう、電話、面接、オンラインなどで相談に応じます。	DV相談 相談件数:478件(内オンライン相談 24件) 相談員の研修(スーパービジョン) 実施回数:2回 DV相談啓発カードの配布 各3,080枚 セミナーの開催 開催回数:12回	変更なし
2	子ども政策課	養育支援訪問	出産直後等で精神的に不安定な場合や、育児方法に不安のある家庭に家事援助や育児相談を行うため、ホームヘルパーや保健師等が訪問します。	訪問家庭 4世帯 111回 82.5時間	変更なし
3	子ども政策課	要保護児童対策地域協議会	関係機関の連携や情報交換を通じて児童虐待の予防及び早期発見・早期対応をめざすとともに、定例的な実務者会議や随時ケース検討会議を開催し、適切な支援を行います。	実施回数 協議会 1回(4/26) 実務者会議 11回 ケース検討会議 16回	実施回数 1回 関係機関の実務担当者による実務者会議を毎月開催する 12回 必要に応じてケース検討会議を開催する
4	子ども政策課	児童虐待防止相談	児童虐待の予防及び早期発見・早期解決のため、虐待通告の24時間体制での受付と児童虐待に関わる養育等の相談を行います。	月曜～金土曜 8時30分～17時 緊急対応 児童虐待防止ホットライン 電話85-6487(24時間対応) 相談件数 1,007件(内、新規虐待件数 36件)	変更なし
5	子ども政策課	家庭児童相談	社会の変動に伴う家族生活の変化により、家庭における児童養育に関する様々な問題に対応した相談を行います。	火曜～土曜 9時～16時 相談件数 797件 (うち、幼児に関する相談 93件)	変更なし
6	保育課	障がい児保育	心身に障がいのある児童に対し、地域の保育園で保育を行います。	障がい児保育実施園を2園増(出川、下津保育園)。 ただし、味美保育園の建替えのため実施園1園減。 実施園 15園(公立13園、私立2園) 障がい児童数 109人(公立97人、私立12人)	実施園 16園 ※味美保育園の建替え後、障がい児保育実施園として継続するため、1園増。
7	障がい福祉課	障がい者生活支援センター	在宅福祉サービスの利用、社会資源の活用など日常・社会生活についての相談や情報などの必要な援助を行います。	相談件数 6,825件 相談実人員 698人 相談窓口 4か所 相談員数 9名	変更なし
8	障がい福祉課	障がい福祉サービス等の提供	児童デイサービスや短期入所(ショートステイ)などの障がい福祉サービスを提供するとともに、相談支援、日常生活用具の給付、移動支援、地域活動支援センターや日中一時支援など地域生活支援事業を実施します。	障がい福祉サービス 居宅介護:2,876人 62,068時間 日中活動系:9,525人 130,704日 居住系:3,086人 84,463日 短期入所:750人 4,827日 補装具:390件 地域生活支援事業 移動支援:3,880人 17,719時間 地域活動支援センター:1,374人 5,294日 日中一時支援:718人 2,648日 訪問入浴:227人 825回 日常生活用具:4,215件 ※全て年間の延べ数	変更なし
9	障がい福祉課	ことばの教室(言語訓練)	児童センターにおいて、言葉の発達等に問題を抱える子どもに、個々のニーズに応じた発語・発音指導やコミュニケーション能力等の指導を行います。	言葉の教室 実施対象:3歳～18歳(保護者同伴) 実施回数:1人につき1月2回(延べ610回) 実施時間:1回45分 参加人数:延べ幼児844人、小学生807人、中高生166人	言葉の教室実施要綱の変更にともない実施対象が3歳～12歳に変更

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
10	子ども政策課	おやこ教室	幼児健診の事後教室として発達・言語に心配のある幼児に対して、保健師・保育士・言語聴覚士・心理相談員が個々に応じた指導・相談を行います。	ひよこ教室 会場 健康管理センター・保健センター 実施回数 36回 参加人数 845人 こっこ相談 H21年度は「おやこ教室(こっこ教室)」として実施 実施回数 9回 参加人数 24人	「こっこ教室」は個別相談の要素が多くなってきたことから、22年度から発達相談のなかに包含し「こっこ相談」とした。
11	子ども政策課	発達相談	発達に不安がある幼児に対して、発達検査や個別相談を行い、幼児への関わり方などを指導します。	会場 健康管理センター 保健センター 実施回数 108回 面接児数 198人	21年度実施の「こっこ教室」は個別相談の要素が多くなってきたことから、22年度から発達相談のなかに包含し、130回開催とした。
12	学校教育課	発達障がい相談	発達障がいを有すると思われる児童・生徒に、専門的な相談員が対応します。	年79回実施	変更なし
13	学校教育課	特別支援教育の推進	特別支援教育コーディネーターの育成、校内委員会運営など障がいのある子どもやその保護者に対して適切な支援を推進します。	特別支援学級担当者会 7回/年 90人 就学指導講習会 1回/年 54人 特別支援教育コーディネータ研修 1回/年 54人 特別支援学級担当者研修会 1回/年 90人	変更なし
14	市民病院医事課	新生児聴覚スクリーニング	新生児の難聴を早期発見するため、聴覚スクリーニングを行います。	耳鼻いんこう科外来において、難聴の早期発見を目的に新生児を対象として、新生児聴覚検査を実施する。(実績:587件)	変更なし
15	市民活動推進課	国際交流ルーム	市民活動支援センター内に開設の「国際交流ルーム」において、国際交流・多文化共生に関する情報の提供や外国人住民のための生活相談を行います。	わくわく!ふれあいワールド 開催回数:7回 実施内容:「イースターを楽しもう」、「親子であそぼう!世界のことは」、「マレーシアの文化にふれよう」ほか 参加者数:204名	変更なし
16	市民活動推進課	外国人向け日本語教室	外国人住民と日本人住民とがお互いの文化や習慣の違いを理解し認め合えるよう、外国人住民を対象に日本語の学習と伝統文化を体験する講座を開催します。	かすがいふれあい教室 ・春期(5~7月)、秋期(9~11月)、冬期(1~3月)の第2・第3・第4金曜日と第2・第3・第4日曜日に日本語教室を開催。 ・受講者を対象に、春期に日本料理、秋期に書道、冬期に茶道と日本の伝統文化体験講座を併せて開催。 ・受講者数:春期486人、秋期460人、冬期490人 ※受講者数には伝統文化体験講座受講者を含む。	変更なし
17	学校教育課	日本語教育講師派遣	日本語が理解できない外国人児童・生徒や海外帰国児童・生徒に対して、適切な日本語指導を行い、学校生活や学習活動への適応を支援します。	日本語講師数6名 派遣校 小学校24校 中学校10校 対象児童生徒数 76名(小学校56名 中学校20名) 対応言語 ポルトガル語、中国語、スペイン語、英語、フィリピン語(タガログ語)、インドネシア語、ウルドゥー語、タイ語、タミル語、ネパール語	派遣校 小学校23校 中学校10校 対象児童生徒数 80名(小学校61名 中学校19名) ※12月22日現在
18	子ども政策課	母子自立相談	母子家庭及び寡婦を対象に、自立に必要な情報提供、相談指導等の支援を行うとともに、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行います。	ひとり親家庭生活支援事業 ひとり親家庭情報交換事業 1回 母子自立支援プログラム策定事業 2件 母子自立相談 相談日時 月曜~金曜 9時~17時 相談場所 子ども政策課 相談件数 1,205件	変更なし
19	子ども政策課	母子生活支援施設入所	経済的困窮等により子育てに支障がある場合、保護者の申し出により母子生活支援施設で母子が自立できるよう支援します。	入所者数 春日井市母子の家 10世帯 27人 市外施設 3世帯 7人 退所者数 春日井市母子の家 7世帯 19人 市外施設 1世帯 2人	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
20	子ども政策課	助産施設入所	経済的理由で入院助産を受けることができない場合、本人の申し出により助産施設で出産できるよう支援します。	入所実績 3世帯 実施助産施設 名古屋市立西部医療センター城北病院 3世帯	変更なし
21	子ども政策課	母子家庭等日常生活支援	母子家庭等が自立に必要な事由や疾病等の事由により、日常生活を営むのに支障が生じる場合に、その居宅等において乳幼児の保育、食事などの家事援助等を行います。	支援家庭 3世帯 63時間 事由別 病気治療 2世帯、公的手続 1世帯	変更なし
22	子ども政策課	自立支援教育訓練給付金	母子家庭で、雇用の安定及び就職の促進を図るために必要な職業に関する教育訓練を終了した場合に、受講費用の一部を支給します。	給付金支給 春日井市自立支援教育訓練給付金 4件	変更なし
23	子ども政策課	高等職業訓練促進給付金	母子家庭で、就職に有利な資格取得と経済的自立のために、2年以上養成機関で受講した場合に給付金を支給します。	給付金支給 春日井市高等職業訓練促進給付金 16件 春日井市高等職業訓練修了支援給付金 5件	変更なし
24	住宅施設課	ひとり親家庭の公営住宅への入居相談	住宅に困っている20歳未満の子どもがいるひとり親家庭に、市営または県営住宅等の公営住宅の募集情報を提供します。また市営住宅の募集では、ひとり親家庭に限定した募集や、コミュニティ住宅の募集ではひとり親家庭に加えて小学校未就学児を扶養する世帯に限定した募集を行います。	市営住宅の抽選募集において、一部の抽選枠について母子または父子家庭に限定した受付を実施した。 ※平成21年度は1戸実施。	平成22年度よりコミュニティ住宅の空家を市営住宅に準じて入居者を募集することとなった。募集にあたり原則として子育て世帯支援に活用することとした。
25	子ども政策課	幼児2人同乗用自転車の普及・啓発	安全性を確保した幼児2人同乗用自転車の普及・啓発を行います。	幼児2人同乗用自転車の利用の促進を図る目的で、レンタサイクル事業を実施するため、幼児2人同乗用自転車を65台購入した。	貸出台数 63台 ※他2台は交通児童遊園で試乗用 貸出期間 平成22年5月15日～平成23年3月15日 賃貸料 月額 1,000円
26.1	交通対策課	交通安全教室	地域の住民を対象とした体験型の家族交通安全教室、正しい横断歩道の渡り方や自転車の乗り方等を指導する小学生を対象とした交通安全教室や幼稚園・保育園児を対象とした交通安全教室を行います。	(実施場所／実施回数／参加者数) 家族交通安全教室 昭和自動車学校／1回/年／113人 小学校交通安全教室 市内小学校／19回/年／延べ8,267人 幼児交通安全教室 市内幼稚園、保育園、子育て子育て総合支援館／26回/年 延べ4,583人 地域交通安全教室 徳農地区学習等供用施設／1回/年／70人	変更なし
26.2	子ども政策課	交通安全教室	地域の住民を対象とした体験型の家族交通安全教室、正しい横断歩道の渡り方や自転車の乗り方等を指導する小学生を対象とした交通安全教室や幼稚園・保育園児を対象とした交通安全教室を行います。	実施場所 交通児童遊園 交通トレーニングコース 実施団体 春日井市公私立保育園(年長児)、春日井市内幼稚園・保育園、春日井市内小学校、ボーイスカウトなど上記以外の団体 実施内容 信号機・踏み切り・横断歩道などを利用し、模擬体験を通して交通ルールを学ぶ(春日井市公私立保育園の年長児はゴーカート運行も含む) 実施回数 51回/年	変更なし 実施回数 平成22年12月31日現在53回

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
27	交通対策課	幼児交通安全クラブの育成	幼稚園で幼児交通安全クラブ(カンガルークラブ)を結成し、各交通安全団体と協力して交通安全啓発活動を行います。	(実施場所/実施回数/参加者(出席者)数) カンガルークラブ連絡協議会総会 市役所/2回/年/15人(延べ30人) 交通安全キャンペーン 県道春日井一宮線等/4回/年/延べ92人 交通安全教室 カンガルークラブ幼稚園/13回/年/延べ2,589人 年末の交通安全決起大会 ザ・モール春日井/1回/年/48人 交通安全推進大会 総合福祉センター/1回/年/7人	園児数の減少等により、カンガルークラブ幼稚園数が7園から5園になった。
28	道路課	あんしん歩行エリア	交通事故の防止と快適な歩行空間の安全確保をめざし、あんしん歩行エリアの整備を図ります。	あんしん歩行エリア(春日井八幡地区) 市道1043号線 L=152.5m	あんしん歩行エリア(春日井八幡地区) 市道1043号線外1路線 L=80.0m 市道129号線 L=100.0m
29	市民安全課	こども防犯教室	春日井市安全なまちづくり協議会の青少年問題調整部会が、ポニターを講師として小学1年生を対象に総合学習を利用し、安全意識の啓発を行います。	受講児童数:2,876人(37小学校) (39小学校中2校は休校となったため、平成22年度に1・2年生合同で実施する。)	受講児童数:2,992人(39小学校) ※平成22年度に休校となった2校のうち、1校にて1・2年生合同で実施。
30	市民安全課	子ども安全アカデミー	小学生を対象に防災・防犯の分野で「自分の身は自分で守る」という意識の醸成と子ども自身が安全なまちづくりに関わることができるよう啓発することを目的に開講します。	開催日時:平成21年8月26日(水)13時30分～16時30分 開催場所:市役所11階 特設会場 参加人数:67人(子ども53人、保護者14人) ※平成22年度は防災について実施	開催日時:平成22年7月30日(金)13時30分～16時30分 開催場所:市役所12階 参加人数:59人(子ども49人、保護者10人) ※平成23年度は防犯について実施
31	市民安全課	安全・安心パトロール隊(青パト)	青色回転灯搭載車が市内を巡回して公園や学校付近をパトロールすることによって、地域住民の防犯意識、安全に対する関心を高め、子どもを犯罪や事故等の被害から守ります。	実施日:基本的に平日9時30分～17時 実施人数:2名	変更なし
32	市民安全課	安全・安心まちづくりポニター「児童見守り隊」	「児童の安全を地域が見守っていく」ことを目的に、春日井市安全なまちづくり協議会安全・安心まちづくりポニターが通学路等で見守り活動を行います。	見守り活動は、下校時の随行型で行い、原則、1・2年生を対象としているが、一斉下校時にも実施した。 実施回数:40回 ポニター参加延べ人数:632人 地域によって、小学校区の子ども応援団「地域のおじさん・おばさん」やPTA、老人クラブなどと合同で実施している。	変更なし
33	市民安全課	こども110番の家	商店、個人宅等に「こども110番の家」の看板を掲出し、緊急時に駆け込み、助けを求められるようにします。	登録件数:1,045件(平成22年3月現在)	変更なし
34	市民安全課	安全安心情報ネットワーク	携帯電話を利用し、警察や市が持つ安全・安心情報(防犯・気象・地震・消防等)を登録者に配信します。	登録者数:約3,000人	変更なし
35	子ども政策課	子ども応援団「地域のおじさん・おばさん」	「大人が変われば子どもも変わる」をスローガンに、地域の子どもは、地域の大人が守り育てるという気持ちで、日常生活の中で子どもたちを見守り、支えます。	平成21年4月23日 平成21年度委嘱状交付式及び全体会 平成21年7月28日 東部地域研修会 平成21年8月21日 中部地域研修会 平成21年9月3日 西部地域研修会 平成21年10月17日・18日 春日井まつり見守り活動 689名(男286名、女403名)で活動(平成22年3月31日現在)	変更なし
36	子ども政策課	児童見守り地域協力隊	各中学校区の健全育成連絡協議会等が中心となり、児童の登下校時などに、登録者が自転車やバイクに「パトロール中」のステッカーを付け、各地域で児童を見守ります。	15中学校区:2,034名(平成21年度末)	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
37	学校教育課	スマイルネットかすがい	小中学校のPTAが中心となり、校区の区・町内会をはじめ、子ども会、老人会など各団体がスマイルワッペンを着けて、地域で子どもを見守っていく活動を推進します。	各小中学校でPTAの母親委員会が中心となり見守り活動等を実施 スマイルワッペン作成	スマイルワッペン作成なし 21年度作成したもので対応
38	子ども政策課	妊婦・乳児健康診査	母子健康手帳交付時に妊娠期・乳児期の健康診査受診票を交付します。	母子健康手帳別冊「母と子のしおり」を交付 [しおりの内容] 妊婦健康診査受診票 14枚 子宮頸がん検診票 1枚 妊産婦歯科健診受診券 1枚 乳児健康診査受診票 2枚 [交付数] 3,840冊	妊婦健康診査の検査項目を拡充し、一人当たりの補助額を90,220円から101,950円に増額した。
39	子ども政策課	妊産婦支援	妊婦や産後育児不安のある母親を支援するため、妊産婦支援のあり方について調査研究します。	市民ニーズを調査するため、4か月児健康診査、パパママ教室でアンケートを実施。	・先進市への視察や、他市への照会など情報収集。 ・21年度に引き続き市民ニーズの調査。
40	子ども政策課	養育支援	こんにちは赤ちゃん訪問等を実施する中で、養育不安を抱える親を対象とした支援事業について調査研究します。	未実施	・先進市への視察や、他市への照会など情報収集 ・課内での家庭支援担当との調整
41	子ども政策課	こんにちは赤ちゃん訪問	生後1～3か月の乳児のいるすべての家庭に、こんにちは赤ちゃん隊が訪問し、育児支援情報の提供や育児の悩みに対応します。	[訪問] こんにちは赤ちゃん隊員数 55人 訪問件数 2,726件 [フォローアップ研修] 実施回数 12回 参加者数 延533名	新たにこんにちは赤ちゃん隊を養成する講座を開催し、10名養成した。
42	子ども政策課	不妊治療費等助成事業	不妊検査費・不妊治療費について助成します。	1夫婦1子につき2年間、上限5万円 助成件数 472組	県の特定不妊治療費助成と重複助成しないように要綱を一部改正した。
43	子ども政策課	新生児訪問	希望により新生児のいる家庭を訪問して、育児や発達についての指導等を行います。	母親の育児不安やマタニティブルー、産後うつ病の早期発見、支援のためにエジンバラ産後うつ病質問票による調査の実施。 訪問数419件(エジンバラ質問票 417件)	子ども手当申請時に訪問勧奨し、ハイリスク者の把握とともに件数の増大を図るようにした。
44	健康増進課	妊産婦歯科健康診査	妊産婦の口腔疾患予防のため、妊産婦を対象に市内の歯科医療機関において歯科健診を無料で実施します。	平成9年度より、妊産婦を対象に市内の歯科医療機関において実施。 母子健康手帳の「母と子のしおり」に受診券を添付 受診券交付から出産後1年以内の妊産婦を対象に歯科健診を行う。 受診者数 956人(受診率 24.9%)	変更なし
45	子ども政策課	母親歯科健康診査	1歳6か月児健康診査に来所の母親に対して、歯や歯肉の健診を行います。	実施会場:健康管理センター・保健センター 実施回数:24回/年 参加人数:374人	変更なし
46	子ども政策課	パパママ教室	妊婦とその夫を対象に、保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士が妊娠や出産・育児について指導します。	妊娠・出産に係る手続き、妊娠中の生活及び出産について(妊婦体操、栄養指導、歯科指導、沐浴指導等の実践と講義) 実施会場 健康管理センター 保健センター 実施回数 36回 参加人数 743人	変更なし
47	子ども政策課	休日パパママ教室	初妊婦とその夫を対象に、妊婦疑似体験及び沐浴など育児体験等を通して妊娠や出産・育児について指導します。	「父親の役割」について学ぶ。沐浴やオムツの当て方の実習、妊婦疑似体験。 実施回数 12回 参加人数 1,084人	平成22年度から健康管理センターにおいて土曜開催とし、「休日パパママ教室」と名称変更した。

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
48	子ども政策課	Uターン育児塾(祖父母世代の育児塾)	ゆとりある子育て環境を整えるため、祖父母の世代を対象に子育てに関する知識・技術を学ぶ機会を提供します。	会場:健康管理センター・保健センター 実施回数:3回 参加者数:30人	変更なし
49	子ども政策課	乳幼児健康診査	4か月児、1歳6か月児、3歳児に対して問診・計測・診察・保健指導等を行います。	4か月児健康診査 予診、計測、内科診察、個別指導 1歳6か月児健康診査 予診、計測、内科診察、歯科診察、歯科保健指導、フッ化物塗布、個別指導 3歳児健康診査 予診、計測、内科診察、視聴覚検査、尿検査、歯科診察、歯科保健指導、フッ化物塗布、個別指導 4か月児健康診査 72回(3,076人受診) 1歳6か月児健康診査 60回(3,034人受診) 3歳児健康診査 60回(2,959人受診)	4か月児健康診査の回数を 72回→60回に変更
50	子ども政策課	乳幼児訪問	健診後や電話相談等で訪問の希望や必要がある場合に、保健師等が訪問します。	訪問延べ件数:802人(実人数 342人)	変更なし
51	子ども政策課	乳幼児健康相談	育児不安のある親に対して、保健師、栄養士、助産師が相談・指導等適切な情報を提供します。	会場:健康管理センター・保健センター 実施回数:36回 参加者数:1,880人(自由来所の身体計測のみの1,294人含む)	変更なし
52	子ども政策課	乳幼児歯科相談	虫歯予防のため、歯科保健指導・歯磨き指導を行います。	実施会場:健康管理センター・保健センター 実施回数:24回/年 参加人数:209人 担当者:歯科衛生士 ※乳幼児健康相談と同時開催	乳幼児健康相談の開催回数に合わせ、年24回から36回実施に変更
53	健康増進課	歯の健康教室	就学前の乳幼児とその保護者を対象に歯科健診、フッ化物塗布、歯みがき指導、歯科相談等を実施します。	昭和54年度から開始し、平成9年度から年2回実施。 実施回数 年2回(6/7、12/6) 参加人数 6,577人(各コーナー参加者延べ人数)	会場変更 健康管理センター→市役所催事場(21年度12月より)
54	健康増進課	歯科保健指導	健康な歯と歯肉を保つため、希望する保育園・幼稚園・小中学校等に対して、歯みがき指導などを行います。	実施者数 保育園 1園(80人) 小学校 9校(2,303人) 中学校 2校(509人) 障がい児施設 2施設(20人)	変更なし
55	健康増進課	フッ化物塗布	むし歯予防を目的に、乳幼児や小学生の希望者に対して、フッ化物塗布を行います。	実施者数 乳幼児 歯の健康教室 2,826人 1.6歳児健診 2,452人(80.8%) 3歳児健診 2,021人(68.3%) 小学生 学童フッ化物塗布 5,956人(62.2%) (小1~3年生対象) 歳入(フッ化物塗布代として) 3,976,500円	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
56	健康増進課	各種予防接種	予防接種法に定められた予防接種を実施し、伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防します。	予防接種法に基づき個別予防接種及び集団予防接種を実施 個別予防接種：指定医療機関で実施 ○三種混合(初回及び追加接種).....12,808人 ○二種混合..... 2,375人 ○麻しん・風しん混合(1～4期).....10,701人 ○麻しん(1～4期)..... 1人 ○風しん(1～4期)..... 8人 ○日本脳炎(初回、追加接種及び第2期)・・ 4,362人 集団予防接種：健康管理センター始め10施設で実施(ポリオ) 健康管理センター、保健センターで実施(BCG) (4か月児健診に合わせ実施) ○ポリオ..... 6,282人 ○BCG..... 3,079人 ○新型インフルエンザ(1～6歳未満)..... 961人	今年度のインフルエンザワクチンは、新型インフルエンザ株を含めた3価ワクチンであり、また、ワクチン供給量が確保される予定(国通知)のため、新型インフルエンザ集団予防接種は実施しない。
57	健康増進課	アレルギー児に対する支援	市民健康づくり講座でアレルギー疾患に対する正しい知識の普及や啓発するとともに、アレルギー児サークルの支援を行います。	「春日井アレルギーの会」の支援 ・講師の派遣についての相談、仲介 ・窓口へのちらしの設置 ・会場の手配	2月6日(日)市民健康づくり講座「今年花粉はスゴイって、どうしよう」
58	学校給食センター	地産地消給食	地産地消の取組みを推進するため、地元で収穫された農産物を給食に取り入れます。	地産地消品目：9品目 種類：みつば、じゃがいも、たまねぎ、うちわサボテン、巨峰、とうがん、さつまいも、八事五寸にんじん、方領だいこん 愛知を食べる学校給食の日：6月18日1ブロック 19日2ブロック ふれあい給食実施日： 7月3日 牛山小学校 うちわサボテン 71名 9月3日 藤山台東小学校 巨峰 34名 10月20日 岩成台西・白山小 とうがん 61名・66名 12月15日 鳥居松小 八事五寸にんじん 62名 1月19日 不二・丸田小 方領だいこん 147名・105名	地産地消品目：10品目
59	学校給食センター	学校給食親子料理教室	親と子が一緒に調理することで、子どもは調理の大変さやつくる喜びなどを学び、親は学校給食への理解を深めるため、小中学生とその保護者に対して調理実習を行います。	開催日：8月5日・6日・7日 4回 参加人数 54組 128人 (東部市民センター、レディヤンかすがい、西部ふれあいセンター)	開催：4回 参加人数：133人
60	健康増進課	離乳食教室	乳児の健康の保持増進を図るため、乳児期における離乳食の進め方、作り方及び食べさせ方等を指導します。	モグモグ健康教室 実施実施回数 18回 参加人数 996人(母・子・父・祖母の合計、母・子のみは953人) カミカミ健康教室 実施回数 12回 参加人数 907人(母・子・父・祖母の合計、母・子のみは892人)	変更なし
61	健康増進課	食育のすすめ教室	「おやつ教室」として実施していたものを17年度から名称を変更し、1～5歳の子どもがいる保護者を対象に、乳幼児期の食育を推進するために、栄養士による食育をテーマにした啓発、講話を行う。	子どもの食事に対する注意事項 同じ世代の子を持つ母親同士での交流 ヘルスメイトによるミニ講座(エプロンシアターや紙芝居など) 栄養相談 実施回数 6回 参加人数 延164人	変更なし
62	健康増進課	親子や子どもの料理教室	小学生とその保護者が一緒に食の大切さ、料理に対する楽しさを学びます。	実施回数 2回 延18組48人 7/4 9組24人 家とは一味違う夏のわくわくクッキング！ 12/5 9組24人 手づくりライスバーガーやカボチャのスープにチャレンジ！おうちでカフェ気分	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
63	消防総務課	救急ガイドブック	救急車の適正利用を促進するため、子どもをもつ親への受診判断基準となる救急ガイドブックを作成します。	未実施	ハンドブックタイプとして、子どもの救急ハンドブック20,000部作成し関係各課に配布した。1年分の受講、届出実績で計画しているので、平成23年度も引き続き配布を継続する。なお、春日井市ホームページにも掲載して広く啓発している。
64	健康増進課	休日・平日夜間診療対策	休日や夜間の急病時にも医療を受けられるように急病診療所を設置します。	健康管理センターにおいて、医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力を得て実施。 平成19年7月～在宅当番医から移行し、健康管理センターで医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力を得て実施。 保健センターにおいて、休日診療を平成21年6月末で廃止。 その他については事業継続。 診療状況 平日夜間診療 健康管理センター 診療日数 243日 受診者数 1,795人 休日急病診療 健康管理センター 診療日数 122日 受診者数 12,958人 保健センター 診療日数 17日 受診者数 438人	変更なし
65	健康増進課	地域医療機関の情報提供	市内の内科・歯科・薬局などの情報を市ホームページなどで提供します。	実績なし 春日井市医療機関マップの改訂を検討していたが、「春日井ガイドブック」に医療機関等一覧が掲載されたため、医療機関マップの改訂は行わず、配付も取りやめた。(ガイドブックに一本化)	変更なし
66	健康増進課	かかりつけ医等の啓発	身近な地域で日常的に医療や健康の相談等が受けられる医院・歯科医院・薬局の情報提供など、かかりつけ医等の重要性を啓発します。	健康ガイドにかかりつけ医の啓発文を掲載している。 また、春日井市医療機関マップの改訂を検討していたが、「春日井ガイドブック」に医療機関等一覧が掲載されたため、医療機関マップの改訂は行わず、配付も取りやめた。(ガイドブックに一本化)	変更なし
67	学校教育課	人権教育の推進	教科や道徳の授業等、教育活動全般を通じて、人権教育を推進していきます。	人権教育の啓発活動 教科指導や道徳指導などを中心に、各校が教育活動全般を通して人権教育に取り組むことができるよう、人権教育に関わる資料や研修会などの情報を発信した(随時)。	変更なし
68	学校教育課	ジェンダーの視点に立った教育	小学校、中学校の教育の中で、ジェンダーや固定的な性別役割分担意識を無意識のうちに伝達していないかを点検し、見直しをします。	・学校における男女平等教育を、各教科、道徳、特別活動、各種行事の中で推進した。 ・学校外の体験活動等においても、固定的な役割分担にとらわれないように分担し実践した。 ・中学校家庭科における保育実習には男女とも参加し、固定的役割分担意識の解消につながるよう保育学習を行った。 ・人権教育の実施状況調査を行った。	教職員や各種指導者等に対する研修を実施する。
69.1	子ども政策課	小中高生の乳幼児とのふれあい	子育て子育て総合支援館、保育園等において、乳幼児とふれあう機会を提供することで、子育ての楽しさと意義を伝えます。	中部中学校2年生が子育て支援の職場体験をし、働くことの大切さ・大変さ・やりがい等を学習する。 実施回数 1回 平成22年1月20日21日 5人(2日間の体験学習) 内容 一時預かり保育・児童の部屋での小学生との交流	変更なし
69.2	保育課	小中高生の乳幼児とのふれあい	子育て子育て総合支援館、保育園等において、乳幼児とふれあう機会を提供することで、子育ての楽しさと意義を伝えます。	公立保育園において、市内中学校・高校生の実習の受け入れを行う。 実施園 : 延べ31園(公立) 実習実施校 : 延べ7校 (中学校 4校、高校 3校) 実習実施日数: 延べ14日 (中学校 7日、高校 7日) 実習参加人数: 延べ521人(中学校 448人、高校 73人)	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
70	学校教育課	外国語指導助手導入	外国語指導助手を配置し、児童・生徒のコミュニケーション能力をはじめとした英語能力の向上と外国の文化に対する関心を深め、国際理解の力を高めます。	配置学校数 全54校(小学校39校 中学校15校) 指導助手数 14名 業務委託先 (株)ダブリュファイブスタッフサービス	指導助手数 13名 業務委託先 (株)インタラック
71	文化課	国際書道交流展	若い世代を中心とした書文化の裾野を広げるため、幼児から高校生までの書作品や海外の高校生の作品を展示するとともに、大学生や高校生による書のパフォーマンスなどを開催します。	未実施	書道パフォーマンス 出演:4チーム 「若い世代による」作品展示 出展作品:157点(うち海外作品55点)
72	市民生活課	春日井まつり	「文化と融和のふるさとづくり」を基本理念として、常に進化する躍動感のあるまつりを目指し、世代や地域を超えた幅広い市民の交流と感動の共有を図ることを目的に、市民と協働のまつりを開催します。	第33回春日井まつり 実施回数:1回/年 会場:庁舎及び周辺の9会場 実施事業:247行事 参加団体:642団体(11,197人) 観覧者数:203,800人	一部のイベントの拡充と、目玉イベントを実施
73	都市政策課	春日井ココが好き！コンテスト	子どもの頃から「景観」を意識する心を育む機会をつくることと、「まちの新しい魅力」を発見・発信し続けるよう絵画コンテストを開催します。	春日井ココが好き！コンテスト2009 応募数:477作品(小学生の部440、中学生の部37) その他:表彰式(参加者約100名)、入賞作品展(94作品) 春日井ココが好き！コンテスト<秋・冬編> 応募数:645作品(小学生の部594、中学生の部51) その他:表彰式(参加者約100名)、入賞作品展(64作品)	「春日井ココが好き！コンテスト<お店の建物編>」として、夏季のみ開催。
74	文化財課	芸能及び伝統活動の伝承	市内の各地に伝わる郷土芸能の後継者育成及び保存伝承に必要な用具等の修理、購入に対し補助金を交付して支援します。	保存・伝承補助 33件 用具の修理・購入補助 14件	変更なし
75	文化財課	郷土館	春日井市の歴史や昔のくらしを学べる展示や茶道などを通じて伝統文化の体験を推進します。	郷土館展示 下街道に関連のある交通・交易資料等を展示 毎月テーマを設定し民俗資料のミニ展示 郷土館茶会 実施回数:5回/年、参加者数:400人 親子教室 ・第1回「竹とんぼを作って遊ぼう」参加者数:11組27人 ・第2回「竹を使って、昆虫を作ろう」参加者数:13組29人 ・第3回「お手玉を作って遊ぼう」参加者数:13組31人	変更なし
76	文化財課	ハニワまつり	ハニワ、まが玉づくり等の体験を通して、昔の人々の生活と文化を学習する機会を提供します。	二子山公園にてハニワの野焼き等を行うことにより、広く市民一般に、「二子山古墳」・「下原古窯跡群」をはじめとする文化財への関心・理解を広げる啓発イベントとして実施した。 ①ハニワ制作大会 開催日 9月12日(土)・13日(日) ②ハニワまつり(19回) 開催日 10月24日(土) 会場 二子山公園 参加者 9,200人 ハニワの野焼き、古代の技術を体験する体験工房(勾玉づくり、ミニハニワづくりなど)等を実施 焼きあがったハニワはふれあい緑道及びハニワの館に設置	変更なし
77	学校教育課	小学生親善交流学習	秋田県男鹿市を相互訪問し、地元小学生との交流、自然や文化、生活習慣を体験することによって、ふるさと春日井を見つめ直す機会を提供します。	・8月上旬小学校39校より代表1名、合計39名が秋田県男鹿市を訪問し、ホームステイ等により交流した。 ・10月中旬、春日井まつりにあわせ、秋田県男鹿市小学生23名が、春日井市を訪問し、ホームステイ等により交流した。	変更なし
78	経済振興課	地域職業体験	市内事業所による職業体験を通じて、次代を担う子どもに働くことの意義を伝えます。	事業実績なし	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
79	経済振興課	就業支援事業	市内外の若者等の就業と市内企業の人材確保を支援するため、就職セミナーに加え、総合就業面談会を開催します。	就職フェアin春日井 場所:ホテルプラザ勝川 日時:6月9日(火) 参加人数:281人(延べ575人) 参加企業数:26社 セミナー参加人数:72人 就職フェアin春日井パート2 場所:ホテルプラザ勝川 日時:9月17日(木) 参加人数:140人(延べ199人) 参加企業数:13社 セミナー参加人数:30人	変更なし
80.1	農政課	農業の担い手育成	学習農園において農業に関する知識や技術を習得させ、新たな担い手を育成します。農業に関する知識や技術の習得などを通じて、新たな農業の担い手を育成すること及びボランティアなど農業を支援する者を養成します。	野菜を中心とした作物の栽培についての講義と実習 期間:平成21年1月から平成21年12月まで 受講生:25人 会場:<講義>尾張中央農業協同組合 春日井中央支店 <実習>春日井市大泉寺町の圃場 運営:尾張中央農業協同組合に委託	施設栽培用ビニールハウス設置予定
80.2	農政課	農業の担い手育成	市民農園において遊休農地化する農地の有効利用を促進するとともに、自然とのふれあいや農業に対する理解を深めることを図ります。	整備した2カ所について補助金交付 設置カ所:林島町(林島第2号農園) 出川町(出川第14号農園) 平成22年3月末現在 22箇所390区画設置	変更なし
80.3	農政課	農業の担い手育成	農業体験において米作りに対する理解を深めるため、親子で田植えから稲刈りまでを体験し、また、春日井の農産物・特産品について理解を深めるため、ぶどう農家やサボテン農家を訪問します。	4回実施 ①開会式、田植え体験(グリーンセンター春日井中央支店) ②ぶどう・サボテン農家訪問 (ぶどう:尾関農園、サボテン:後藤サボテン) ③稲刈り体験、JAライスセンター見学 (稲刈り体験:松原中学校隣接水田) (ライスセンター見学:春日井ライスセンター) ④おこしもの郷土料理体験、閉会式 (JA尾張中央春日井中央支店) 参加者数 親子10組	3回目 JA産直グリーンセンター見学を追加 4回目 高蔵寺地区農業祭見学とじねんじょの郷土料理を体験する。
81	男女共同参画課	若者就業支援相談	おおむね35歳未満の市民を対象に、職業適性診断や個別相談による適職探しの支援を行います。	職業生活や職業に関する様々な情報を気軽に入手できるよう、職業適性診断や個別に相談を行う。 相談日 毎月第1木曜日 実績 男性5名 女性4名 合計 9名(6回)	変更なし
82	学校教育課	職場体験学習の推進	職場体験を通じて、職業観を育成します。	小学校では、主として、体験学習を通して行った作業や、働く人々の見学、企業や公共施設の見学等で出会った人の様子等を通して、社会の様子や暮らしについて考える場を設けた。中学校では、職場体験を進路指導の中に位置づけ、段階的に指導を行っている。「あいち・出会いと体験の道場」に、市内全中学校が参加している。この活動では、各学校が、これまでの実績や地域的特色をいかし、生徒が幅広く職場選択をすることができるように多種多様な業種選定に努め、体験させることのできる機会確保に努めた。また、ただ体験するだけでなく、事前の活動や事後の活動内容の充実をはかり、職業に対する考え方や、自分のこれからの生き方について見つめ直す契機としている。	「あいち・出会いと体験の道場」では、今年度より、これまで1クラス40,000円の予算が、28,000円に変更された。
83	人事課	インターンシップ制度	大学生が企業や公的機関等の業務を直接体験することを通して、自己の正しい認識と仕事に取り組む心構えや意識の醸成をめざします。	5月に各所属ヘインターンシップ学生受け入れのアンケートを行い、受け入れ可能な所属についてのみ学生を募集。各大学のキャリアセンターと人事課で覚書等の書類を交わし、学生を受け入れ。具体的なカリキュラムや業務内容及び受け入れ期間(日数)は受け入れ先所属に一任をしている。 9大学(工専含む)から10名の参加。市民活動支援センターをはじめ8所属にて受け入れ(外郭団体を含む)。	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
84	広報広聴課	子ども広報発行	次代を担う子どもたちに、市政に対する関心や認識を深めてもらうため、市政情報等をわかりやすく編集した子ども広報を発行します。	未実施	配付対象：市内の小学4～6年生及び中学生 発行回数：年2回（7月、12月） 発行部数：20,000部（7月）、21,000部（12月） その他：情報コーナー及び東部市民センター、坂下出張所、各公民館・ふれあいセンター等に設置
85	広報広聴課	市長を囲んでわくわくトーク	春日井の将来を担う子どもたちに、市長とともに市政について考える機会をつくります。	日時：平成21年8月7日（金）午前10時～11時30分 会場：文化フォーラム春日井 2階 会議室A・B 参加者数：39人（市内小学校から各1人）	日時：平成22年7月30日（金）午前10時～11時30分 会場：総合体育館 2階 大会議室 参加者数：39人（市内小学校から各1人）
86	市民活動支援センター	青少年ボランティアスクール	中学生から大学生までを対象とし、ボランティア・NPO活動を実際に体験するセミナーを開催します。	開催日 (1)事前学習 平成21年7月11日（土）、7月22日（水）（21人参加） (2)活動体験 平成21年7月18日（土）～8月6日（木）（18人延べ46人参加） (3)活動報告会 平成21年8月7日（金）（10人参加） 対象者 市内在住、在学の中学生から大学生 内容 NPO・ボランティアの活動を実際に体験するもの。 (1)事前学習 NPO・ボランティアの基本的な学習 (2)活動体験 各体験先で実際の活動を体験 (3)活動報告会 福祉施設通所の子どものゲームや料理を通して交流を深めるとともに、活動体験を取りまとめ報告	活動報告会の日程を1日増やした。
87	子ども政策課	げんきっ子会議	子育て子育て総合支援館において、夢や希望に満ちた子どもたちの素直なメッセージを発表する場を提供していきます。	テーマ「みんなでいこう！あそび島へ!!」 みんなで出来る遊びは何かなどを考え発表し、げんきっ子会議参加者全員で遊ぶ。 実施回数 1回 平成21年11月21日（土） 参加人数 24人（発表者）、24人（ヒップホップ）、16人（鳴子踊り）	テーマは毎年変わり、今年度は「こたえがない質問にチャレンジ!おもしろいってなに?チャレンジ!クイズ博士になろう!!」で行う。 鳴子踊りはフラダンスに変更。
88	子ども政策課	児童福祉大会	児童福祉の意識啓発として、市内小中学校から推薦を受けた心身ともに健やかで他の模範となる優良児童生徒を表彰します。	児童福祉大会 5/17 被表彰児童生徒：57人 被表彰団体及び功労者：3人	変更なし
89	学校教育課	性に関する教育の推進	思春期の児童・生徒が性に関する正しい知識を身に付け、からだとこころの健康を自らがつくる教育を推進します。	春日井市教育委員会及び春日井市教職員研修委員会作成の「いのちの学習」の手引きをもとに、指導の内容の見直しを図りながら、担任をはじめ多くの教師が各学年の発達段階に応じて系統的に性教育の指導を実施	変更なし
90	学校教育課	エイズや薬物乱用防止に関する教育の推進	児童・生徒がエイズと薬物乱用に関する正しい知識を身に付け、適切な行動がとれる教育を推進します。	・各学校で警察による指導等も含めて、PTAも参加した形で、薬物乱用に関する学習を行った。 ・エイズ教育に対して発達段階に応じた指導を各学校で実施した。	変更なし
91	学校教育課	健康教育（酒・タバコの害）の推進	喫煙や飲酒等がからだにおよぼす有害性・危険性について、正しい知識を身に付ける教育を推進します。	・各学校で子どもの発達段階に応じて、系統的に薬物乱用防止教育を実施。 ・春日市養護教諭会において、健康教育推進マニュアルを作成し、全校に配付。 ・市内小学校2校、中学校3校において飲酒防止、喫煙防止をテーマに学校保健委員会を開催し、当該校の児童生徒に啓発。 ・学校敷地内の禁煙を継続。	・健康教育推進マニュアルの改訂 ・学校保健委員会のテーマは、児童生徒の実態に合わせて各校で検討決定。
92	子ども政策課	子ども・若者支援地域協議会	教育、福祉、保健、医療、矯正、更生保護、雇用など子ども・若者育成支援に関連する分野の関係者が連携し、総合的な支援を行う組織を設置します。	未実施	協議会の設置に向けた準備会議を開催し検討
93	健康増進課	メンタルヘルス相談	精神科医師および臨床心理士によるメンタルヘルス相談（うつ、自殺、引きこもりなどの心の病気に関する相談）を実施します。	相談業務…第2・3火曜（精神科医師） 相談業務…第4木曜（臨床心理士） 相談件数 精神科医師 16件 臨床心理士 19件	相談業務…第2・3火曜（精神科医師） 相談業務…第4水曜（臨床心理士）

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
94	子ども政策課	青少年Eメール相談	青少年がパソコンや携帯電話のメールから気軽に相談できるEメール相談を行います。	相談件数:44件	変更なし
95	子ども政策課	青少年電話相談	青少年や保護者からの電話による悩みごと相談を行います。	相談件数:227件	変更なし
96	学校教育課	いじめ・不登校相談室	小中学校における、いじめ・不登校児童・生徒の指導や保護者からの相談に応じ、問題解決や学校復帰を支援します。	不登校相談件数 小学校37件 中学校165件 その他25件 計227件 いじめ相談件数 小学校28件 中学校12件 その他7件 計47件	変更なし
97	学校教育課	スクールカウンセラー	カウンセリングの専門的な知識を持つスクールカウンセラーが学校を定期的に巡回し、相談を行います。	市スクールカウンセラー5名を派遣し、小学校10校中学校9校を巡回している。また、心の相談員は、市内全小学校39校に派遣している。	市スクールカウンセラー5名を派遣し、小学校8校中学校10校を巡回している。
98	子ども政策課	青少年健全育成推進会議	関係団体等と連携し、次代を担う青少年に関する施策を総合的に実施します。	総会の開催、市民大会事業、啓発事業、地域活動事業、家庭教育事業	変更なし
99	子ども政策課	青少年健全育成市民大会	青少年健全育成功労者及び優秀作品入賞者、運動・文化・善行で優れた児童・生徒の表彰や講演会を開催します。	月日:11月11日(水) 場所:春日井市民会館 内容:第1部 大会宣言、表彰(青少年健全育成功労者の部、健全育成・非行防止作品等の優秀作品の部、運動・文化・善行の部) 第2部 講演 演題「大人が変われば子どもは変わる～子育て、虐待、思春期の問題～」 講師 定本 ゆきこ(京都少年鑑別所法務技官 精神科医)	変更なし
100	子ども政策課	健全育成・非行防止運動	青少年の健全育成・非行防止を社会全体の責任と捉え、関係機関・団体が連携して啓発活動を行います。	青少年健全育成・非行防止運動の実施 夏のふれあい運動、冬のふれあい運動、愛のパトロール、啓発物品・資材等の作成 春日井まつりにおける青少年健全育成活動の実施 カレンダーの作成	変更なし
101	子ども政策課	愛のパトロール	青少年の健全育成・非行防止を図るため、納涼まつり等においてパトロール活動を行います。	月日:7月25日(土) 場所:落合公園	変更なし
102	子ども政策課	街頭補導	少年指導員が不良行為等に対する声かけを行うほか、危険箇所や有害情報の収集・提供を行います。	少年指導員数:194人 街頭補導実施回数:752回 声をかけた少年の延人数:1,034人	変更なし
103	東部市民センター	ニュータウンきずな事業	高蔵寺ニュータウンの中核となる東部市民センターを、地域住民の「出会い」と「きずな」づくりの場とするため、子どもや親子を対象とした体験講座や、ホールでの芸術文化鑑賞などを実施し、地域交流や世代間交流の活性化を図ります。	未実施	とびだせ!夏のどんぐりキッズ公民館 開催日時:平成22年8月29日(日)午前10時～午後4時 参加者数:494人(うち大人163人、子ども331人) どんぐり芸術文化劇場「どんぐりベル・コンサート」 開催日時:平成22年12月18日(土)午後2時～4時 参加者数:300人
104	子ども政策課	子育て支援拠点整備	地域的利便性に配慮しつつ、子育てつどいの広場などの子育て支援拠点の整備を促進します。	未実施	平成22年8月に春日井市東部子育てセンター(中央台2丁目5番地サンマルシェ・アビタ館内、指定管理者:NPO法人あつとわん)を新たに整備した。 地域子育て支援拠点として、子育て親子の交流等を促進するつどいの広場と一時預かり事業を実施する。
105	子ども政策課	地域子育て支援ネットワーク	子育て支援団体等のネットワーク化を図るため、子育て支援団体ネットワーク会議の開催などについて調査研究します。	未実施	移動型子育て支援事業を試行的に実施(10:00～11:30) 平成23年2月3日・3月3日(坂下公民館)、2月7日・3月7日(鷹来子どもの家)、2月8日・3月8日(南部ふれあいセンター)、2月18日・3月18日(グリーンパレス)
106	子ども政策課	子育て支援サークルの助成	地域における子育て支援を図るため、親子の交流の場や情報提供を行う子育て支援サークルに助成します。また、団体活動の情報提供を行います。	助成団体数 13団体	助成団体数 17団体

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
107	子ども政策課	つどいの広場	子育て親子の交流・集いの場の提供や子育てに関する相談・援助、地域の子育て関連情報の提供などを行います。	子育て応援広場キッコロに補助金を交付 内容:子育て親子の交流の場や子育て相談、情報の提供、講座などを実施する。 運営:社会福祉法人樹の里 場所:特別養護老人ホーム春日井樹の里併設(春日井市四ツ家町)	変更なし
108	保育課	園庭開放	育児の不安や悩みを解消し、親子が安心して遊んだり、交流する場として公立保育園の園庭・ホールを開放します。	実施場所 公立保育園28園 日時 第2・第4木曜日 午前9時30分～午前11時30分 対象者 未就学児及びその保護者 実施回数 23回 参加人数 3,627人 (内訳)保護者 1,675人 児童 1,952人	変更なし
109	保育課	子育てサロン	乳幼児連れの親子が自由に意見や情報を交換し、子どもとのつきあい方などを学ぶサロンを市内各所で開設します。	【市子育て支援センター】 子育てサロン 親子(乳児)を対象に、手遊び、触れ合い遊び、体操・運動遊び、読み聞かせ等 情報交換を行う。 場所:総合体育館、保健センター、南部ふれあいセンター グリーンパレ春日井 年間利用人数:480組 1023人 【神屋子育て支援センター】 地域社会福祉協議会の子育て支援サロンより依頼され実施。 風船あそび(白山地区社協) 33組 ふれあいあそび(高森台地区社協) 8組 お正月あそび(東高森台地区社協) 15組	変更なし
110.1	子ども政策課 (子育て子育て 総合支援館)	子育てサークル育成支援	児童館や子育て支援センターにおいて、保護者が主体的に子育てができるよう、地域での自主的な子育てサークル活動を支援します。	他の子育て施設で活動しているサークルの見学をする。 サークルの規約を作る。	館内にサークル立ち上げのポスターを掲示する。 3つのグループがサークルとして活動中。
110.2	子ども政策課 (交通児童遊園)	子育てサークル育成支援	児童館や子育て支援センターにおいて、保護者が主体的に子育てができるよう、地域での自主的な子育てサークル活動を支援します。	実施場所 交通児童遊園 多目的ホール 実施回数 25回/年 実施日時 毎週火曜日・水曜日・木曜日 (小学校及び幼稚園の春・夏・冬休み期間を除く) 実施内容 子育てサークルに活動の場所を提供、ポスターの掲示 利用サークル 4サークル 対象 20人(未就園児の同伴者を含む)以上の子育てサークル	変更なし 実施回数 平成22年12月31日現在24回
110.3	子ども政策課 (児童センター)	子育てサークル育成支援	児童館や子育て支援センターにおいて、保護者が主体的に子育てができるよう、地域での自主的な子育てサークル活動を支援します。	遊戯室兼体育ホールの利用 利用サークル(6サークル)	利用許可書・登録等の見直し、変更
110.4	保育課	子育てサークル育成支援	児童館や子育て支援センターにおいて、保護者が主体的に子育てができるよう、地域での自主的な子育てサークル活動を支援します。	市子育て支援センター ①子育てサークルの紹介 ②子育てサークル活動に必要な教材等の貸し出し:4件/年 ③子育てサークル活動に必要な場所の提供:44回/年 (4サークルが利用) 神屋子育て支援センター ①子育てサークル活動に必要な場所の提供:21回/年 延べ305人(5サークルが利用) ②サークル活動支援のポスター掲示	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
111	教育総務課	私立幼稚園幼児教育活動支援事業費補助金	保護者の育児・家庭教育についての不安を解消するため、教育相談などを行う幼稚園に助成します。	以下の事業を開催する園に対し、事業費の1/2以内かつ100,000円以内の額の補助を行った。 ①幼児教育相談、親子教室事業 ②施設等開放事業 ③その他幼児教育の向上に資する事業 補助実施 19園	変更なし
112	子ども政策課	子育て・子育て総合相談支援ネットワーク	子育て・子育てに関する各種相談の連携体制の強化について調査研究します。	未実施	未実施
113	子ども政策課	地域子育て応援事業(子育て支援ネットワーク)	妊婦、在宅子育て家庭の保護者の登録制度を創設し、子育て支援情報の携帯メール配信などを調査研究します。	未実施	未実施
114	子ども政策課	春日井っ子みらいネット	子ども・若者のライフステージに合わせ、子育て・子育てに関する情報を市ホームページで提供します。	妊娠・出産、乳児・幼児、小学生、中学生から18歳、青年などライフステージごとに各種情報を提供しています。 また、イベントカレンダー、施設情報、ワンポイントアドバイスによる質問、Eメール相談など子育て支援に関する総合的な情報提供を推進します。 トップページアクセス数 3,134件	適宜必要なホームページの見直しを行うなど、情報提供の充実を図ります。
115	子ども政策課	すくすくEメール相談	夜間や休日等にも妊娠・出産や乳児・幼児について相談できるよう、Eメール相談を行います。	昼間は育児や就労等で相談できる時間がない人も夜間などに相談できるよう、妊娠や出産、乳幼児の子育て相談に対応する「すくすくEメール相談」を実施した。 受付時間 365日24時間 相談件数 21件	変更なし
116.1	子ども政策課	子育て相談	児童館、子育て支援センターや保育園において、電話や面接で子育ての不安や悩みの相談を行います。	子育て子育て総合支援館 育児相談(電話・面接) 受付 火曜日～日曜日 時間 午前9時～午後7時 年間の相談件数 199件(電話 116件、面接 83件) 相談内容の内訳 基本的な生活習慣・・・65件 発育・発達・・・36件 医学的問題・・・3件 生活環境・・・13件 育児方法・・・43件 その他(虐待関係・親支援・情報提供等)・・・39件 児童センター 毎週水曜日電話相談実施 32件	変更なし
116.2	保育課	子育て相談	児童館、子育て支援センターや保育園において、電話や面接で子育ての不安や悩みの相談を行います。	春日井市子育て支援センター 電話相談 月～金曜日 9時～16時 面接相談 月～金曜日 9時～16時 (平成21年度相談件数 電話 162件 面接 125件) 神屋子育て支援センター 電話相談 月～金曜日 9時～16時 面接相談 月～金曜日 9時～16時 (平成21年度相談件数 電話 32件 面接 36件) 保育園 電話相談 月～金曜日 9時30分～16時 面接相談 月～金曜日 9時30分～16時 (平成21年度相談件数 電話34件 面接236件)	変更なし
117.1	子ども政策課 (子育て子育て総合支援館)	子育て支援情報誌の発行	子育てに関する情報、講座等のお知らせを掲載した情報誌を発行します。	情報誌「ほほえみ」年4回発行(5月・8月・11月・3月) 800部発行 子育て支援施設・各公民館などに配布	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
117.2	子ども政策課 (交通児童遊園)	子育て支援情報誌の発行	子育てに関する情報、講座等のお知らせを掲載した情報誌を発行します。	情報誌 「交通児童遊園だより」 年6回発行(4月・6月・8月・10月・12月・2月) 500部発行 子育て支援施設・保育園・各公民館など一般利用者を対象に配布 「スマイル」 年4回発行(4月・7月・10月・1月) 1,500部発行 小学校・児童館など小学生を対象に配布	情報誌 ○「交通児童遊園だより」 年4回発行(4月・7月・10月・1月) 2,000部発行 子育て支援施設・児童館・小学校・保育園・各公民館など小学生を含む一般利用者を対象に配布
117.3	子ども政策課 (児童センター)	子育て支援情報誌の発行	子育てに関する情報、講座等のお知らせを掲載した情報誌を発行します。	児童センターだより「なかよし」の年間発行 年間4回発行 4月・7月・10月・1月 配布先 児童センター、小学校4校、保育園30園、保育課、子ども政策課、総合支援館、交通児童遊園、子育て支援センター2園 配布枚数 1600部 児童センター利用案内 自由来所用 100部	変更なし
117.4	保育課	子育て支援情報誌の発行	子育てに関する情報、講座等のお知らせを掲載した情報誌を発行します。	市子育て支援センター 子育てだより「げんきっこ」 発行回数 3回/年 発行部数 3400部 上八田子育て支援センター 子育てだより「ひよこクラブ」 発行回数 3回/年 発行部数 1800部	変更なし
118	子ども政策課	家庭教育講演会への支援	私立幼稚園及び私立保育園に対し、家庭教育力の向上をめざした講演会の開催を支援します。	助成対象団体 5園	変更なし
119	図書館	読み聞かせの普及	4か月児健診で絵本や絵本リストを渡すブックスタートなどにより、親から子への読み聞かせの大切さを普及します。	ブックスタート実施回数:72回 参加者数:3,098組 (内訳) 健康管理センター 48回 2,161組 保健センター 24回 928組 図書館事務所 9組	渡す絵本を2冊から1冊に減らした。
120.1	子ども政策課 (子育て子育て 総合支援館)	育児講座	児童館や子育て支援センターにおいて、未就園児の保護者を対象に、応急処置や絵本の読み聞かせなどを指導し、育児に必要な知識を提供します。	講座実施数:8回 お父さんと遊ぼう(4回) ベビーマッサージ(2回) 体を使ってリズム遊びをする(1回) 食育について「手作りおやつ」(1回) 合計 501人(215組)	ベビーマッサージは応募数が多く好評なので内容変更し回数を4回に増やす。 講座回数 8回
120.2	子ども政策課 (児童センター)	育児講座	児童館や子育て支援センターにおいて、未就園児の保護者を対象に、応急処置や絵本の読み聞かせなどを指導し、育児に必要な知識を提供します。	絵本の読み聞かせ 実施回数 年間12回 参加人数(延べ168人) ひよこ教室 0歳児 実施回数 年間11回 参加人数(延べ1369人) 1歳児 実施回数 年間11回 参加人数(延べ1540人) 2・3歳児 実施回数 年間11回 参加人数(延べ1105人)	ひよこ教室2・3歳児の実施のうち年間5回は講師によるひよこ教室親子リズムに変更

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
120.3	保育課	育児講座	児童館や子育て支援センターにおいて、未就園児の保護者を対象に、応急処置や絵本の読み聞かせなどを指導し、育児に必要な知識を提供します。	市子育て支援センター 育児講座 5回/年 ①「子どもの事故の応急処置法」の救急法 参加人数 36人 ②「親子で楽しむ人形劇」 37組79人 ③「パパと遊ぼう」 16組42人 ④「絵本の楽しみ方を知る」 23組50人 ⑤「親子で楽しむリズム遊び」 45組90人 神屋子育て支援センター 育児講座 3回/年 ①「子どもの事故の応急処置法」の救急法 参加人数 30組80人 講師 消防職員 ②「親子で楽しむ紙芝居」 21組42人 講師 読み聞かせグループ「かえるの子」 ③「リトミック親子で楽しむ音楽あそび」 35組74人 講師 カワイ音楽講師	変更なし
121.1	子ども政策課 (子育て子育て総合支援館)	親子教室	児童館や子育て支援センターにおいて、親子で一緒にいろいろな遊びを体験し、交流を深める機会を提供します。	ふれあい広場(0歳児) 年間11回 ふれあい広場(1歳児) 年間11回 ふれあい広場(2歳児・3歳児) 年間11回 合計 3,520人 0～1歳児・2～3歳児に分けて年間それぞれ17回行っていたものを、0歳児・1歳児・2～3歳児に分けたことで回数が減った。	変更なし
121.2	子ども政策課 (交通児童遊園)	親子教室	児童館や子育て支援センターにおいて、親子で一緒にいろいろな遊びを体験し、交流を深める機会を提供します。	子育て広場 実施場所 交通児童遊園 多目的ホール 実施回数 37回/年 実施日時 毎週金曜日 午前10時～11時30分 (第5金曜日、祝休日、小学校の春・夏・冬休み期間を除く) 実施内容 体操・手遊び・リズム遊び・親子ゲーム・おもちゃ作り・絵本の読み聞かせ・誕生会・季節行事など 参加対象 春日井市在住の未就園児とその保護者 参加者数 4,000人/年 内訳(保護者1,921人、0歳200人、1歳812人、2歳761人、3歳306人)	実施回数 33回/年に変更 実施時間 午前10時～11時に変更 他は21年度と同様 参加者数は平成22年12月31日現在2,878人
121.3	子ども政策課 (児童センター)	親子教室	児童館や子育て支援センターにおいて、親子で一緒にいろいろな遊びを体験し、交流を深める機会を提供します。	お父さんと遊ぼう会 2・3歳児対象 実施回数年1回 参加人数(10組) 親子リズム教室 2・3歳児対象 実施回数年5回 参加人数(延べ202人) 親子のびのび教室 2・3歳児対象 実施回数年10回 参加人数(延べ464人) 館外事業 親子川遊び教室 小、中学生とその保護者対象 実施回数年2回 参加人数(50人) 親子陶芸教室 小、中学生とその保護者対象 実施回数年2回 参加人数(58人)	親子リズム教室の実施回数を5回から10回に増(内5回はひよこ教室で開催)
121.4	保育課	親子教室	児童館や子育て支援センターにおいて、親子で一緒にいろいろな遊びを体験し、交流を深める機会を提供します。	市子育て支援センター げんきっ子教室を開催 手遊び、触れ合い遊び、体操等を月ごとのテーマとして実施 0～2歳時(グレーンゾーン児も含む)が対象 0歳児2回/年、1歳児3回/年、2歳児9回/年 参加人数:879組1915人 お父さんと一緒に 手遊び、触れ合い遊び、体操等を月ごとのテーマとして実施 1歳半以上 2回/年 参加人数:41組119人 神屋子育て支援センター 親子教室を開催 新聞遊び、風船遊び、笹飾り作り、スタンプ遊び、かるた遊び等 参加人数:798組1820人 実施回数:50回	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
122	生涯学習課	ふれあい教育セミナー	幼稚園や小中学校に通う子とその保護者が家庭教育の大切さを学習するセミナーの開催を支援します。	補助対象者数 65セミナー(うち幼稚園11園、小中学校54校) 実施回数 595回 延参加者数 38,908人	各セミナーに対する補助金額の上限を減額し、実施した。
123	男女共同参画課	男女共同参画の啓発	男女共同参画社会の実現をめざし、市民、事業者等への意識啓発、情報紙発行、市民フォーラムの開催などを行います。	男女共同参画市民フォーラム 実施日:平成21年11月8日(日) 場所 レディヤンかすがい 参加者:約250人 内 容:落語(笑福亭 松枝氏) トーク&コンサート(エスペランサ) みんなでジェンダークイズ ジェンダー絵手紙入賞者表彰 応募数 115点 応募者数 102人 男女共同参画に関するパネル展示 男女共同参画情報紙「はるか」の発行 回 数:年3回(4月、8月、12月) 部 数:5,000部	男女共同参画情報紙「はるか」の発行月を4月、8月、12月から7月、11月、3月に変更
124	男女共同参画課	男女共同参画セミナー	男女が多様な能力を開発、発揮し、社会のあらゆる分野へ参画できるよう学習の場を提供します。	男女共同参画セミナー 実施数:4講座4回 実施講座:学校向けセミナー(1講座・1回) 事業者向けセミナー(1講座・1回) 教職員向けセミナー(1講座・1回) 市民向け出前講座(1講座・1回) 受講者数:208人	変更なし
125	保育課	認定こども園整備補助	教育及び保育に対する需要の多様化への対応、待機児童の解消を図るため、民間事業者が実施する整備を支援します。	未実施	平成23年度の開園に向け、県補助を受け、(学)旭ヶ丘学園が実施する認定こども園整備事業を支援する。 認定こども園実施園あさひの森保育園(認定こども園旭ヶ丘幼稚園併設)
126	保育課	認可保育所整備補助	待機児童の解消を図り、多様な保育サービスを提供するため、民間事業者が実施する整備を支援します。	平成21年度より、さくら保育園(社団法人恩賜財団 愛知県同胞援護会が運営)を新設開園	平成23年度の開園に向け、県補助を受け、(学)春日井学院が実施する認可保育所整備事業を支援する。 いとうたんぼぼ保育園
127	保育課	既設保育所の建替え整備	老朽化が著しい保育園について、保育環境を確保するため整備計画に基づき順次計画的に建替え整備を行います。	平成21年度より、勝川北部保育園が建替え開園。 平成22年度の開園に向け、味美保育園の建替えに伴う委託工事を実施。 平成23年度の開園に向け、小野保育園の建替えに伴う設計委託を実施。 保育園の修理等小工事实施。	平成22年度より、味美保育園が建替え開園。 平成23年度の開園に向け、小野保育園の建替え工事を実施。 平成24年度の開園に向け、第三保育園の建替えに伴う設計委託を実施。 保育園の修理等小工事实施。
128	保育課	通常保育	保護者の就労等により、家庭で保育ができない児童の保育を実施します。	市が運営する公立保育園と社会福祉法人・学校法人等が運営する私立幼稚園があり、いずれも市において入園決定を行い、保育料と公費等で運営する。 【保育所入所状況】 公立保育園 28園 3,820人 私立保育園 10園 1,073人 (さくら保育園1園増)	変更なし 【保育所入所状況】 公立保育園 28園 3,938人 私立保育園 10園 1,104人
129	保育課	保育サービス第三者評価システム	第三者機関によるサービス内容等の評価の受審を進めます。	未実施	未実施
130	保育課	延長保育	保護者の就労状況等により通常の時間を超えた保育を行います。	11時間の開所時間を越える保育で、開所時間の前後30分以上実施するもの。 (7:00~7:30及び18:30~19:00) 実施園 10園(公立 5園、私立 5園) 利用料 朝及び夕各延長につき 1,000円	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
131	保育課	休日保育	保護者の就労状況等により、休日に保育ができない児童の保育を行います。	休日(日曜日、祝日)に子どもを預かる。 実施園(委託): 1園(さくら保育園・私立) 利用料: 3,000円/日 4~6年保育 1,500円/日 1~3年保育 利用延べ人数: 299人	変更なし
132.1	保育課	一時保育	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育や保護者の疾病、育児疲れに伴う負担の解消等に対応するため、一時的な保育を行います。	実施園: 6園(公立2園、私立4園) 保育時間: 午前8時30分~午後4時(土曜:午前8時30分~正午) 利用期間: 14日/月以内 利用延べ人数 6946人(公立 2835人、私立 4111人)	変更なし
132.2	子ども政策課	一時保育	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育や保護者の疾病、育児疲れに伴う負担の解消等に対応するため、一時的な保育を行います。	子育て子育て総合支援館 利用時間 1日(7:30~19:00) 午前(7:30~12:30)、午後(13:00~19:00) 利用料金 1日(3,000円) 半日(1,500円) 利用定員 1日おおむね15人(6か月児から就学前まで) 利用人数 3,428人	子育て子育て総合支援館は変更なし 平成22年8月に開設した東部子育てセンターで一時預かりを実施 利用時間/料金 7:30~19:00 3,000円 7:30~12:30 1,500円 13:00~19:00 1,500円 1時間預かり 500円/時間(上限3,000円) 利用定員 おおむね15名 利用人数 553人
133	子ども政策課	児童ショートステイ	保護者が病気その他の理由により養育が一時的に困難となった場合に、児童福祉施設等で一時的に養育します。	利用世帯 1世帯 11日間	変更なし
134	保育課	病後児保育(施設型)	委託医療機関で、病気等の回復期にある小学校低学年までの児童の保育を行います。	保育時間: 月曜日~金曜日(午前8時30分~午後5時) 土曜日(午前8時30分~午後1時) ※祝休日、年始年末を除く 保育期間: 原則7日以内 実施施設: 3施設(市内医療機関) 利用料: 2000円/日(他に食事・おやつ代500円要) 利用延べ人数: 981人	変更なし
135	保育課	特定保育	保護者の就労状況等により、週2~3日程度保育ができない児童の保育を行います。	実施園: 1園(私立保育園) 利用料: 2日/週 9,400円~18,300円 3日/週 13,500円~26,100円 利用延べ人数: 82人	変更なし
136	子ども政策課	子ども手当	中学校修了前の子どもを養育している保護者に、手当を支給します。	児童手当として、小学校修了前の子どもを養育している保護者に手当を支給。 被用者児童手当 73,568人 非被用者児童手当 19,413人 特例給付 3,379人 被用者小学校修了前特例給付 217,158人 非被用者小学校修了前特例給付 65,479人	児童手当から子ども手当に移行(平成22年4月1日)
137	保険医療年金課	子ども医療費助成	医療費(保険診療分)の自己負担分を助成します。	医療保険適用後の入院・通院医療費自己負担額の助成 対象者 入院 出生から中学3年生まで 通院 出生から小学3年生まで	平成22年7月診療分から通院医療費助成の対象を小学3年生から中学3年生まで拡大
138	子ども政策課	児童扶養手当	ひとり親家庭の18歳未満(高校卒業まで)の児童又は父母のいない児童を監護(養育)している人に手当を支給します。	支給対象延児童数 全部支給 12,516人 一部支給 11,781人 第2子加算 11,212人 第3子以降加算 3,238人	父子家庭を支給対象とする法律の改正がなされた。(平成22年8月1日施行)

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
139	子ども政策課	子ども福祉手当	ひとり親家庭の18歳未満(高校卒業まで)の児童又は父母のいない児童を監護(養育)している人に手当を支給します。	支給対象延児童数 一律支給 43,626人 全部支給 251人 一部支給 479人 第2子加算 274人 第3子以降加算 53人 公課の禁止(児童扶養手当法第25条)により所得に算入されない児童扶養手当に比べ、子ども福祉手当は他の雑所得とあわせて20万円以上になった場合、確定申告をする義務がある。母子家庭等に支給される児童扶養手当との公平性を保つため、雑所得として申告のあった子ども福祉手当のうち、父子家庭へ加算した児童扶養手当に相当する手当額を、所得の額から控除するよう所得の計算方法を見直す条例改正を実施(平成21年8月1日施行)	児童扶養手当について父子家庭を支給対象とする法律の改正がなされたため、子ども福祉手当において父子家庭へ加算する児童扶養手当に相当する手当の支給を廃止するよう条例改正を実施(平成22年8月1日施行)
140	保険医療年金課	母子家庭等医療費助成	医療費(保険診療分)の自己負担分を助成します。	医療保険適用後の入院・通院医療費自己負担額の助成 対象者 母子・父子家庭で18歳以下の子及びその母・父(所得制限あり)	変更なし
141	保険医療年金課	心身障がい者医療費助成	医療費(保険診療分)の自己負担分を助成します。	医療保険適用後の入院・通院医療費自己負担額の助成 対象者 身体障がい者手帳1～3級所持者(腎臓機能障がい4級及び進行性筋萎縮症4級～6級含む)、療育手帳A・B判定、自閉症症状群の診断	変更なし
142	教育総務課	私立幼稚園給食費補助金	保護者の負担を軽減するため、私立幼稚園児の給食費の一部を助成します。	市内に住所を有する園児の給食費について減免を行った園に対し、補助を行った。 補助金額 市内に住所を有する園児数×6,000円以内の額 (途中入園については、給食費支払い月数×500円以内の額) 補助実施 55園	変更なし
143	教育総務課	私立幼稚園就園奨励費	私立幼稚園の入園料の負担を軽減するため、保護者の負担能力の程度に応じて補助金を交付します。	市内に住所を有する園児の保護者に対し、入園料及び保育料を減免する園に対し、補助を行った。 補助実績※ (1)生活保護・市民税非課税世帯 従 第1子 @153,500×127人 第2子 @224,000×16人 新 第2子 @168,000×49人 第3子以降 @294,000×11人 (2)市民税所得割非課税世帯 従 第1子 @116,300×33人 第2子 @206,000×5人 新 第2子 @135,000×11人 (3)市民税所得割額34,500円以下世帯 従 第1子 @88,400×169人 第2子 @192,000×26人 第3子以降 @294,000×1人 新 第2子 @110,000×113人 第3子以降 @294,000×23人 (4)市民税所得割額183,000円以下世帯 従 第1子 @62,200×2,054人 第2子 @179,000×278人 第3子以降 @294,000×6人 新 第2子 @87,000×908人 第3子以降 @294,000×76人	(1)生活保護世帯 従 第1子 @220,000 従 第2子 @260,000 従 第3子以降 @299,000 新 第2子 @240,000 新 第3子以降 @299,000 (2)市民税非課税及び所得割非課税世帯 従 第1子 @190,000 従 第2子 @245,000 従 第3子以降 @299,000 新 第2子 @218,000 新 第3子以降 @299,000 (3)市民税所得割額34,500円以下世帯 従 第1子 @106,000 従 第2子 @203,000 従 第3子以降 @299,000 新 第2子 @155,000 新 第3子以降 @299,000 (4)市民税所得割額183,000円以下世帯 従 第1子 @43,600 従 第2子 @172,000 従 第3子以降 @299,000 新 第2子 @108,000 新 第3子以降 @299,000

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
144	教育総務課	私立幼稚園運営費補助金	私立幼稚園が行う幼児教育に関する事業のうち、備品の購入等に対して、補助金を交付します。	幼児教育に関する事業を行う園において、備品もしくは消耗品の購入または修繕に要する費用について補助を行った。 補助金額 5月1日現在における幼稚園の在園児数×1,000円+300,000円以内の額 補助実施 23園	変更なし
145	教育総務課	私立幼稚園協議会運営費補助金	春日井市私立幼稚園協議会の運営に係る事業に要する経費等について補助金を交付します。	以下の事業を行う私立幼稚園協議会に対し、補助を行った。 ①私立幼稚園の振興と幼児教育の発展に関する事業 ②幼児教育の向上に資する研修事業等 ③その他協議会運営に関する事業 補助金額 ①幼児教育事業費 @20,000×23園 ②研修等事業費(市内)@500×921人(延べ) (市外)@1,000×427人(延べ) ③協議会運営事業費 200,000円	変更なし
146	学校教育課	要保護及び準要保護児童生徒就学援助費	生活に困窮している世帯で市立小中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対して、義務教育にかかる負担のうち対象費目を援助します。	継続および新規認定申請により、審査し認定をした。定められた単価及び実績に応じた単価による支給をした。 小学校 要保護 97人、準要保護 722人 中学校 要保護 72人、準要保護 465人	変更なし
147	学校教育課	特別支援教育就学奨励費	特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者に対して、経費の一部を援助します。	特別支援学級在籍者の保護者の申請により、審査し認定をした。定められた単価及び実績に応じた単価による支給をした。 小学校 151人、中学校 61人	変更なし
148	保育課	保育料(保育園)の軽減	保護者の経済的負担を抑えるため、保育園、幼稚園等に同時入所(園)の場合の2人目は半額又は特別額、3人目以降の無料化など、保育料を軽減します。	同一世帯で2人以上の児童が保育園、幼稚園等を利用している場合、第2子が保育園に入園している場合は、その児童の保育料は半額となり、第3子以降の児童の保育料は無料とする。或いは、18歳未満の児童が3人以上いる場合、第3子以降の児童で4～6年保育である児童の保育料は無料とする。	変更なし
149	子ども政策課	子育てバリアフリーマップ	子育て支援団体等と連携し、子ども連れでも外出しやすいバリアフリーマップの作成を推進します。	未実施	未実施
150	子ども政策課	赤ちゃんの駅	おむつ替えコーナーや授乳用のお湯などを提供する協力店舗を推進します。	未実施	未実施
151	子ども政策課	マタニティマークの普及・啓発	妊産婦であることを周囲に知らせるための「マタニティマーク」を広く普及し、妊産婦にやさしい環境づくりを推進します。	母子健康手帳交付時にマタニティキーホルダーを配布 市内の駅や商業施設等に、マタニティマーク啓発ポスターを掲示	変更なし
152	道路課	交通バリアフリー	駅周辺と市役所周辺の交通バリアフリー化を推進するため、歩道の段差解消や視覚障がい者ブロックの整備を行います。	バリアフリー新法 (春日井市役所周辺地区) 市道1042号線 L=103.6m 歩道整備、視覚障がい者用ブロック設置 歩道の段差解消 マウントアップ歩道において、33箇所の切下げを実施	バリアフリー新法 (高蔵寺駅周辺地区) 市道6433号線 L=280.0m 歩道整備、視覚障がい者用ブロック設置 (春日井市役所周辺地区) 市道1060号線 L=40.0m 視覚障がい者用ブロック設置 歩道の段差解消 5箇所の切下げを予定
153	道路課	安全な歩道等の整備	地域の事情に応じて、安全で安心して通行できる歩道の整備に努めます。	歩道の整備 市道139号線 L=811m 市道120号線 L=149m 市道2181号線 L=53m	歩道の整備 市道120号線 L=40m 市道139号線 L=400m

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
154	公園緑地課	公園整備・公園トイレ整備	市民のレクリエーション、憩いの場として公園を整備します。	井高公園整備・トイレ整備 高御堂公園整備・トイレ整備 牛山公園整備	変更なし
155	子ども政策課	インターネット利用安全・安心講座	青少年が安全に安心してインターネットを利用できるよう、インターネット上におけるコミュニケーションマナーやルール、情報発信の責任等について学ぶ講座を開催します。	未実施	講座の開催に向けた準備を行う
156	子ども政策課	有害情報対策	市ホームページの春日井っ子みらいネットにおいて、有害情報対策を図ります。	掲載内容 携帯電話の使い方、与え方 有害情報から子どもを守るために ～フィルタリングシステム～	変更なし
157	子ども政策課	店舗巡回	少年指導員が非行防止のため、ゲームセンター、書店、コンビニなどを巡回します。	巡回箇所 5,225回 (内訳) 映画館 16回 書店 62回 ゲームセンター 159回 その他 4,988回	変更なし
158	教育総務課	特別教室環境改善	図書室など特別教室の環境改善として、空調機などを整備します。	図書室へ空調機の設置を行った 味美小学校外2校特別教室環境改善工事(味美小・白山小・勝川小)…100,86千円 春日井小学校外2校特別教室環境改善工事(春日井小・篠木小・鷹来小)…8,739千円	変更なし
159	教育総務課	校舎等耐震補強	子どもが安心して勉学にのぞめるよう、耐震診断結果に基づき、基準値に達しない小中学校校舎の耐震補強を計画的に行います。	耐震診断結果に基づき、基準値を満たす耐震補強工事を行った 小学校耐震補強工事(12校)…615,789千円(附帯工事含む) 中学校耐震補強工事(4校)…114,623千円(附帯工事含む)	変更なし
160	学校教育課	幼・保・小の連携推進	幼稚園、保育園、小学校が連携を図り、指導内容や指導方法の連続性を高め円滑な接続を進めるため、幼保小連携協議会で検討します。	春日井市幼保小連携推進会議を開催 実施回数 3回(10月、12月、2月) 幼保小連携の取組みの現状と課題をまとめた報告書「春日井市における幼保小連携の推進のために」を作成し、市内の全幼稚園・保育園・小学校に配付した。	変更なし
161	学校教育課	少人数学習指導対策	少人数指導の拡大に対応するため、少人数指導講師の充実を図ります。	市内51校(小学校37校、中学校14校)に74人の非常勤講師を配置し、きめ細やかな指導を行った。 配置の内訳 少人数指導対応 30人 指導困難学級対応 38人 養護教諭支援 4人 特別支援学級支援 2人 また、特別支援教育介助員1人を肢体不自由児学級に配置した。	非常勤講師を4人増員し、80人とした。(小学校38校、中学校14校 52校に配置) (指導困難学級対応、養護教諭支援、特別支援学級支援を増員)

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
162	野外教育センター	自然体験の推進	自然体験、野外活動体験、集団宿泊体験などの各種プログラムを一年を通して提供します。	里山体験「田んぼの学校」実施回数:6回/年 参加者数:244人 里山体験「雑木林の学校」実施回数:3回/年 参加者数:63人 サマーキャンプ2009 実施回数:1回/年 参加者数:61人 初めて挑戦アウトドア(I、II、III) 実施回数:3回/年 参加者数:129人 ファミリーキャンプ(初夏・冬) 実施回数:2回/年 参加者数:165人 わくわく自然ランド 実施回数:4回/年 参加者数:149人 あそびむしくらぶ 実施回数:10回/年 参加者数:413人 自然学校「カヌーに乗って湿地探検」実施回数:2回/年 参加者数:26人 築水池カヌー体験 実施回数:2回/年 参加者数:39人 もっとカヌーを楽しもう 実施回数:2回/年 参加者数:31人 大人のための自然体験講座 実施回数:2回/年 参加者数:26人 自然満喫ウオーキング教室と焼き栗 実施回数:1回/年 参加者数:92人 秋発見!自然観察と芋煮会 実施回数:1回/年 参加者数:55人 あそびむしくらぶ夜の森探検 実施回数:2回/年 参加者数:99人 これで決まり!お正月準備のつどい 実施回数:1回/年 参加者数:37人	年間を通して里山の体験をしてもらうために、21年度に別々の講座として実施していた「田んぼの学校」と「雑木林の学校」を1本化する。また、同時期に実施していた「自然満喫ウオーキングと焼き栗」と「秋発見!自然観察と芋煮会」についても、秋の風物詩を楽しむ講座として1本化する。
163	野外教育センター	夏休み子ども教室・親子教室	動物の世話や木片、押し花を使った手づくり教室を通じて命の大切さや豊かな心を育てます。	夏休み子ども教室(木片で作るおもちゃ教室) 実施回数 16回 参加人数 100人 夏休み子ども教室(動物飼育体験) 実施回数 5回 参加人数 49人 夏休み親子園芸教室(親子で作るペットボトルのハンギング) 実施回数 1回 参加人数 27人 夏休み親子教室(押し花グッズを作る) 実施回数 1回 参加人数 42人	動物飼育体験は、希望者多数のため開催日数を増やした。
164	文化課	芸術家等派遣(あ〜とふるマイタウン)	優れた文化・芸術に身近な施設で直接触れられるよう、芸術家や専門家を講師として学校や町内会、福祉施設等に派遣します。	文化・芸術に触れる機会を多くの市民の皆さんに提供するとともに、それぞれの地域の身近な場所において文化・芸術に親しんでいただくため、市内外で活躍する芸術家等を派遣するもの。 和洋あんさんぶる(アンサンブルリベルタ) 実施地区:2地区 参加者数:302人 音楽で遊んじゃおう(アンサンブル花束「ブーケ」) 実施地区:2地区 参加者数:247人 落語を楽しもう(社会人落語「楽語の会」) 実施地区:2地区 参加者数:110人 オペラへの扉(フィオーレ) 実施地区:2地区 参加者数:502人 面白いで「書」(原田凍谷) 実施地区:2地区 参加者数:113人 大きな筆で大きな文字を書こう(武内峰敏) 実施地区:2地区 参加者数:151人 Shall we コンテンポラリー dance?(倉知可英) 実施地区:0地区 参加者数:0人	実施プログラムのうち、「Shall we コンテンポラリー dance?(倉知可英)」を廃止し「雅印を作ろうー篆刻に挑戦(小川大樸)」を追加

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
165	環境政策課	環境教育・学習の支援	子どもやその保護者を対象に、環境にやさしいライフスタイルの実践を促すエコセミナー等を開催します。	市民環境フォーラム 市民の環境活動への取組みの推進と相互の交流や環境情報の提供を目的に開催する。 「かすがい環境賞」表彰及び活動発表、環境実験:ecoパフォーマンスショー、エコクイズにチャレンジしよう 日 時:平成21年9月19日(土) 場 所:レディヤンかすがい多目的ホール 参加者:200人 夏休み子どもエコセミナー「親子で楽しもうエコクッキング」 日 時:平成21年7月23日(木) 場 所:東部市民センター 参加者:親子14組30人 エコセミナー「端切れで作る布雑貨」 日 時:平成21年12月17日(木) 場 所:レディヤンかすがい 参加者:17人	変更なし
166	図書館	子どもの読書や本についての講座・講習会	本に親しみ、興味を持ってもらうよう、読書感想文の書き方教室など講座・講習会を開催します。	読書感想文書き方教室 読書感想文コンクールの一環として、よりよい感想文を書くために実施。 実施回数:1回 参加者数:201人	変更なし
167	各ふれあいセンター、公民館	子ども・親子向け講座	各ふれあいセンター・公民館において、子どもや親子を対象とした各種講座を開催します。 ※公民館は、中央、知多、鷹来、坂下、東部(東部市民センター)の5公民館を、ふれあいセンターは、味美、高蔵寺、南部、西部の4ふれあいセンターを指す。	市民講座 講座数 11講座(全講座数 79講座) 実施回数 86回(全実施回数 605回) 延参加者数 4,567人(全参加者数 18,115人) 実施内容 ふれあい体操、体操ゲーム、リトミックなどを実施 短期講座 講座数 34講座(全講座数 152講座) 実施回数 54回(全実施回数 313回) 延参加者数 2,365人(全参加者数 7,789人) 実施内容 リトミック、パン作り、科学あそび、料理、絵画などを実施 子どもの部屋 実施回数 12回 延参加者数 218人 実施内容 土曜日、日曜日に公民館において、子どもを対象とした紙芝居、人形劇、親子いもほり体験などを実施	変更なし
168.1	子ども政策課(子育て子育て総合支援館)	子ども教室	児童館において、楽しく物をつくったり、人形劇を鑑賞するなど情操や創造力を豊かにする子ども教室を開催します。	工作教室(実施回数5回・参加人数62名) ビーズでアクセサリを作る。 ちぎり絵で絵手紙を作る。 押し花教室(2回)。 子ども講座(実施回数4回・参加人数47名) 手品教室・科学の手品不思議大発見・切り折り紙飛行機 トールペイント にこにこ劇場(実施回数6回・参加人数295名) ボランティアグループによる劇「おおきなかぶ」「電車にのって」 「いないいないばあ」「おはよう」など 職員によるエプロンシアター・パネルシアターなど	工作教室は、押し花教室を1回に変更し回数を4回にした。 子ども講座は、切り折り紙飛行機を無くし回数を3回にした。 にこにこ劇場は、回数を4回にした。

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
168.2	子ども政策課 (交通児童遊園)	子ども教室	児童館において、楽しく物をつくったり、人形劇を鑑賞するなど情操や創造力を豊かにする子ども教室を開催します。	季節行事 5回 実施場所 交通児童遊園 多目的ホール 実施内容 「七夕会」「夏休み劇場」「クリスマス会」「新春お楽しみ演奏会」「ひな祭り会」 参加人数 472人 父親とのふれあい会 1回 実施場所 交通児童遊園 会議室 実施内容 紙飛行機作り 参加人数 27人 大会 3回 実施場所 交通児童遊園 会議室等 実施内容 「オセロ大会」「スローゴルフ大会」「将棋大会」 参加人数 48人 教室 6回 実施場所 交通児童遊園 会議室等 実施内容 「将棋教室2回/年」「科学遊び」「手品教室」「冬の工作教室」「琴・尺八・打楽器体験教室」 参加人数 102人	父親とのふれあい会を廃止 「親子ふれあい教室」「夏の工作教室」を新規で実施 「将棋教室」を1回/年に変更 他は21年度と同様
168.3	子ども政策課 (児童センター)	子ども教室	児童館において、楽しく物をつくったり、人形劇を鑑賞するなど情操や創造力を豊かにする子ども教室を開催します。	児童センターまつり 実施回数 年1回 参加人数(388人) お楽しみ会 実施回数 年3回 参加人数(220人) クリスマス会 実施回数 年1回 参加人数(95人) わくわく工作ランド 実施回数 年3回 参加人数(156人) オセロ大会 実施回数 年1回 参加人数(31人)	変更なし
169	学校教育課	学校評議員	開かれた学校づくりや信頼される学校をめざして、保護者・地域住民の意向を把握し、学校運営に反映します。	市内の小中学校54校に配置している(男:110名 女:117名 計:227名)。各学校とも、学校評議員の方から学校運営に関する様々な意見を聞くことにより、地域にひらかれ、信頼される学校づくりの参考としている。各学校とも、学校評議委員会を年3回程度開催している。	市内の小中学校54校に配置している(男:106名 女:121名 計:227名)。
170	学校教育課	生徒指導研修	関係諸機関との緊密な情報交換を通じて、児童・生徒の現状把握に努め、健やかな成長を支える環境づくりや諸問題の解決をめざす指導を充実します。	情報交換の場として、小中生徒指導担当者会、中高生徒指導連絡会をもうけている。また、先進校視察や研修会の場を設定し、様々な事案に適應できるよう研鑽を積んだ。各学校においては、職員を中心に行う教育研修会、各種会議や児童生徒と行う日々の相談活動、学校評議員による地域の声などを受け、児童生徒の生活改善に努めた。 小中生徒指導担当者会 年3回 参加者 毎回約60名 中高生徒指導連絡会 年3回 参加者 毎回約40名 小中生徒指導担当者研修会開催等	変更なし
171	子ども政策課	補導連絡会	少年指導員と学校との情報交換会を開催し、地域と学校が連携した非行防止活動を進めます。	実施回数:60回(15中学校区において年4回ずつ実施)	変更なし
172	子ども政策課	青少年交流拠点	地域の若者や大人、NPOとの協働で、放課後や休日にスポーツ、文化活動など多彩な活動をするための交流拠点や居場所づくりを行います。	未実施	未実施
173	子ども政策課	放課後児童健全育成事業	放課後児童健全育成事業を実施する施設として、子どもの家を整備するとともに、老朽化への対応を進めます。	新たに子どもの家(牛山、西山、神屋、篠原)を4か所整備した。	新たに子どもの家(玉川、岩成台西)を2か所整備した。
174	子ども政策課	青少年の居場所づくり事業 助成	青少年の居場所づくり活動を継続的に行う団体に助成します。	助成対象団体:2団体	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
175	学校教育課	放課後なかよし教室	小学校の施設内で子どもたちの安全で安心な居場所作りを推進する。	対象 小学校1年生～3年生 時間 月～金曜日放課後～午後4時 ※全小学校39校 登録者数 3,376人(21年3月現在)	対象 小学校1年生～6年生 時間 月～金曜日放課後～午後4時30分 ※全小学校39校 登録者数 3,783人(22年3月現在)
176	子ども政策課	放課後児童健全育成	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に、授業の終了後適切な遊びや生活の場を提供します。	設置箇所 29か所	設置箇所 33か所
177	スポーツ課	わくわく体験！Active Sports	体験コーナー、各種スポーツ教室の開設、体育施設の無料開放等により、幼児から高齢者まで幅広い年齢層にいろいろなスポーツを普及します。	わくわく体験！Active Sports(家族ぐるみで楽しむ、知る、体験する) スポーツを通じてコミュニケーションを深め、健康・体力づくりをする) 実施日:10月12日(祝) 会場:総合体育館、温水プール 参加者:6,200人	わくわく体験！Active Sports 第1競技場 体験コーナーを2種目から4種目へ拡充。 第2競技場 卓球1日無料開放→体力チェックコーナー
178	スポーツ課	学校体育施設の開放	地域住民のスポーツ振興のため、市内学校の体育施設を地域住民に開放します。	県立学校体育施設開放 広く県民にスポーツ活動の実践の機会を与え、健康増進と体力の向上を図るため。 開放校:県立春日井高等学校 始め7校 利用者数:1,667人(延べ人数) ※県事業のため実施計画は、県からの通知等により変更となる。 小中学校体育施設開放 市立学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地域住民に開放することにより、社会教育及び社会体育の普及および発展に寄与するために実施する。 開放校数:小学校 39校の体育館 中学校 15校の体育館、武道場 利用者数:302,948人(延べ人数)	県立学校体育施設開放 今年度より高蔵寺高等学校がテニスコートを開放(学校教育に支障のない範囲に限る。)
179	スポーツ課	スポーツ表彰・応援団制度	春日井市における優秀なスポーツ選手及び指導者の栄誉をたたえ、その功績を広く顕彰するとともに、文化スポーツ応援団として優秀なスポーツ選手を支援します。	春日井市スポーツ賞 対象期間:平成21年1月1日～平成21年12月31日 開催日:平成22年3月21日(祝) 会場:春日井市総合体育館 受賞者:特別賞 個人 30名、一般賞 個人 20名 文化スポーツイベント補助金(全国大会等出場) 平成21年7月補助金交付要綱制定 補助金交付件数(激励費(報償費)含む) 個人 全国 168件 個人 国際 13件 団体 全国 4件 団体 国際 0件 合計 1,530,000円	変更なし
180	子ども政策課	スポーツ教室	児童センターにおいて、運動を通じた各種教室を行い、健康づくりと体力増進を図ります。	子ども空手教室 実施回数5回 参加者数(延べ212人) ヒップホップ教室 実施回数5回 参加者数(延べ160人) バドミントン教室 実施回数5回 参加者数(延べ244人) 卓球教室 実施回数5回 参加者数(延べ84人)	変更なし
181	学校教育課	中学校部活動指導	柔・剣道などの専門的な技術指導力を備えた適切な講師を派遣し、部活動の活性化を図ります。	柔・剣道等専門講師 10校 11名派遣 部活動専門講師 全中学校15校 51名派遣	部活動専門講師 全中学校15校 55名派遣

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
182	子ども政策課	ファミリー・サポート・センター	子育て子育て総合支援館において、安心して子育てができるように、依頼会員と援助会員がお互い助け合いながら活動する会員組織を運営します。また、緊急サポート事業を調査研究します。	会員になるための講習会(年5回・142人受講) 内容 1.子どもの体と病気 2.子どもの心理 3.子どもの安全と応急手当 4.相互援助活動について 年間活動件数 2,289件 会員数 援助会員 106人 依頼会員 487人 両方会員 105人 合計 698人	変更なし
183	子ども政策課	はぐみんデーの啓発	子育てで家庭で、職場で、地域で、市民一人ひとりが子育てを支えていく取組みを推進します。	市民一人ひとりが家庭や職場、地域で子育てを応援する取組を積極的に、社会全体で子育てを支えるため、毎月19日を子育て応援の日(はぐみんデー)として活動運動を実施した。また、市ホームページでの周知や啓発グッズの配布等を行った。	変更なし
184	子ども政策課	わいわいカーニバル	青少年同士の交流や活動発表の場、さらには親子のふれあいの場を提供します。	月日:5月17日(日) 場所:落合公園～ふれあい緑道～三ツ又ふれあい公園、総合体育館 参加者数:5,000人	変更なし
185	子ども政策課	次世代育成支援対策地域協議会	次世代育成支援対策行動計画の点検・評価を行うとともに、総合的見地から次世代育成を推進します。	次世代育成支援対策地域協議会 計画策定の審議等 5回開催 延べ傍聴者数 13名	次世代育成支援対策地域協議会 実施状況報告等 1回開催 延べ傍聴者数 3名
186	保育課	保育所地域活動(世代間交流事業)	世代間のふれあいを行うため、老人福祉施設・介護保険施設等への訪問や、施設・地域の高齢者を招待し、交流を行います。	実施園:9園(私立) 実施事業:44事業 世代間交流事業 老人施設訪問、七夕まつり・運動会・ひな祭り会等招待、病院クリスマス会 障がい児保育推進事業 障がい児の家族と交流 地域の子育て家庭の育児講座 読書会、子どもの言葉のアルバム作り、お茶会、赤ちゃんの日 園給食試食会、離乳食講習会 地域における異年齢児交流事業 園児とのふれあい、廃品利用製作、花壇作り	変更なし
187	子ども政策課	子育て家庭優待事業(はぐみんカード)	地域の店舗等で子育て家庭を応援するはぐみんカードの利用が広がるよう推進します。	はぐみんカードを市内公共施設(子育て施設、ふれあいセンター等)で配付した。 市内協賛店舗 163事業所	市内の小中学校、保育園、幼稚園などを通じて新しいカードを配布した。
188	子ども政策課	子ども会への活動支援	地域社会における健全な児童・生徒の育成を図るため、活動の支援を行います。	団体数:136団体 補助金額:5,378,500円 うち市子ども会育成連絡協議会 補助金額:1,491,000円	変更なし
189	子ども政策課	青少年団体への支援	青少年団体の相互理解と連携、青少年の健全育成を図るため、活動の支援を行います。	市青少年団体連絡協議会に対し補助金を交付	変更なし
190	子ども政策課	子育て支援ボランティア養成講座	子育て子育て総合支援館において、子育て支援団体の活動を促進するため、ボランティア養成講座を実施します。	家庭や地域の育児力の向上を図るために、身近な地域での子育てに対する援助活動ができるようにする。 実施数:1講座(6回コース) 内容:「子どものこころ」「読みきかせ」「ボランティアについて」などの講義と「救急法」「体を動かす遊び」「ふれあい広場」などの体験 参加人数 15人	変更なし

かすがいっ子未来プラン事業推進状況一覧表

資料

事業No.	所属名	事業名	事業内容	21年度実績	22年度予定
191	野外教育センター	野外活動・自然体験指導者養成講座	自然体験・集団宿泊体験などを有効に実施するための指導者を養成します。	野外活動・自然体験指導者講座 実施回数:5回/年 参加者数:46人	講座の内容を3種類とする。 リーダー講座 5回/年 インストラクター講座 5回/年 スキルアップ講座 1回/年
192	経済振興課	ワーク・ライフ・バランスセミナー	関連機関の協力を得てワーク・ライフ・バランスセミナーを開催し、総労働時間の短縮、フレックスタイム制導入など働き方の見直しを実現するための事例紹介を行います。	ワーク・ライフ・バランスと両立支援促進セミナー 場所:勤労福祉会館 日時:平成21年11月2日(月) 参加人数:23人 主催:(財)21世紀職業財団愛知事務所、春日井市、小牧市 ワーク・ライフ・バランス推進セミナー 場所:勤労福祉会館 日時:平成21年11月25日(水) 参加人数:33人 主催:春日井市、愛知県	事業実績なし
193	経済振興課	ファミリー・フレンドリー企業の啓発	市ホームページでファミリー・フレンドリー企業についての情報発信を行い、市民、企業(事業所)の子育て支援に対する意識を高めます。	仕事と家庭の両立に配慮した取組を進めるファミリー・フレンドリー企業に登録された企業を、県からの冊子、チラシ、ポスターなどを窓口や市の情報コーナーにおいて紹介した。また、市のホームページに掲載し紹介した。	事業継続 紹介企業事例の発掘を行う 登録企業が12、認証企業が4(平成22年12月末現在)
194	男女共同参画課	相談窓口、マザーズ・ハローワークの情報提供	子育て等でいったん仕事を中断した女性の再チャレンジを推進するため、相談窓口やマザーズハローワーク等の情報提供を行います。	市(男女共同参画課)のホームページから関連サイトにリンクした。かすがい男女共同参画市民フォーラム開催時に、愛知県の作成した「あいち女性のチャレンジ応援サイト愛チャレンジ」のチラシを配布した。	変更なし
195	男女共同参画課	企業等への取組み促進・啓発	企業、市民等を対象に広報等で女性の就労支援、雇用拡大に関する情報提供や啓発、講座の紹介やセミナーの開催を行います。	市(男女共同参画課)のホームページから関連サイトにリンクした。かすがい男女共同参画市民フォーラム開催時に、愛知県の作成した「あいち女性のチャレンジ応援サイト愛チャレンジ」のチラシを配布した。	変更なし